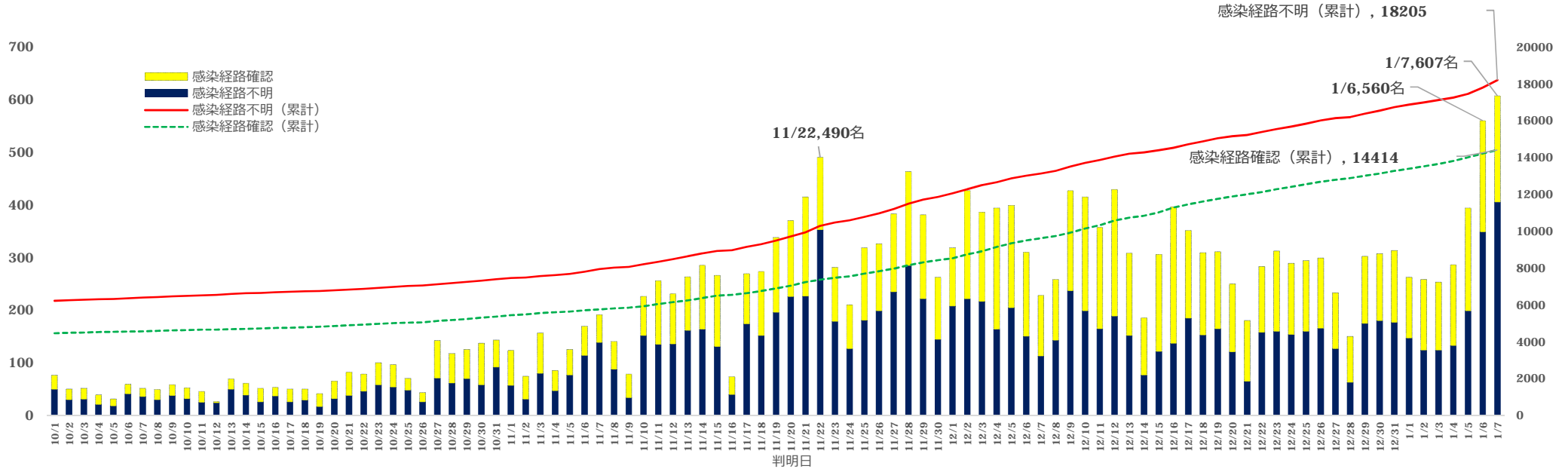


# 陽性者数の推移

資料 1 - 1



10月10日  
3密で唾液が飛び交う環境自粛要請など

10月14日  
Go To Eat Osaka 食事券引換開始

11月1日  
入国制限緩和

11月12日～11月28日  
「静かに飲食」マスクの徹底の要請等

11月20日対策本部会議  
イエローステージ2移行(11月21日)決定

11月21日～12月5日  
5人以上、2時間以上の宴会・飲み会自粛  
高齢者・基礎疾患のある方等の不要不急の  
外出自粛要請等

11月24日  
大阪府を目的地とする旅行のGoToトラハルの  
適用一時停止

11月25日～12月16日  
大阪府・中央区への施設休業等の要請

11月27日～12月15日  
新規発行の一時停止  
ポイントや食事券の利用自粛要請、食事券の  
自粛要請

11月27日  
大阪府に居住する方のGoToトラハルの利用  
自粛要請

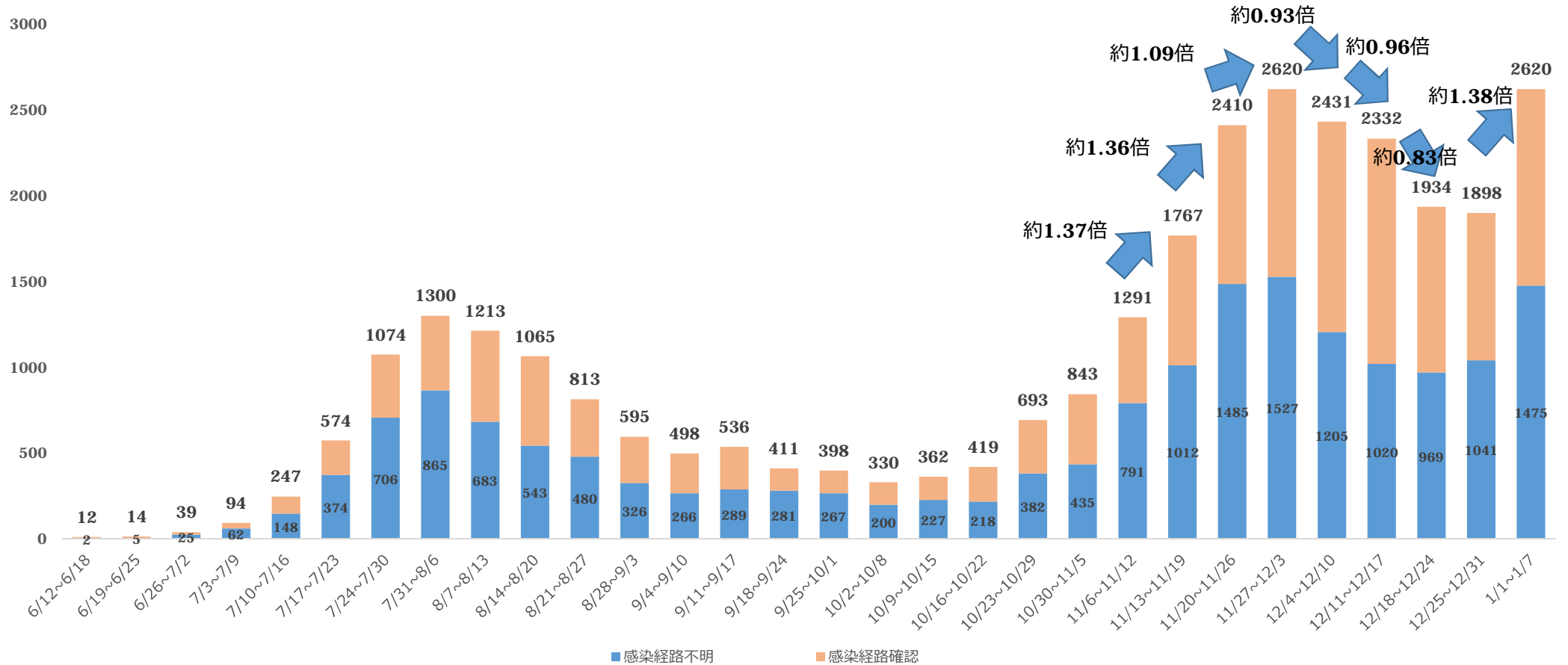
12月3日対策本部会議  
レッドステージ1移行を決定(赤信号点灯)

12月4日～15日  
府民へのできる限り不要不急の外出自粛要請  
大阪府全域への施設休業等の要請

12月16日～29日  
府民への不要不急の外出自粛要請  
大阪府全域への施設休業等の要請

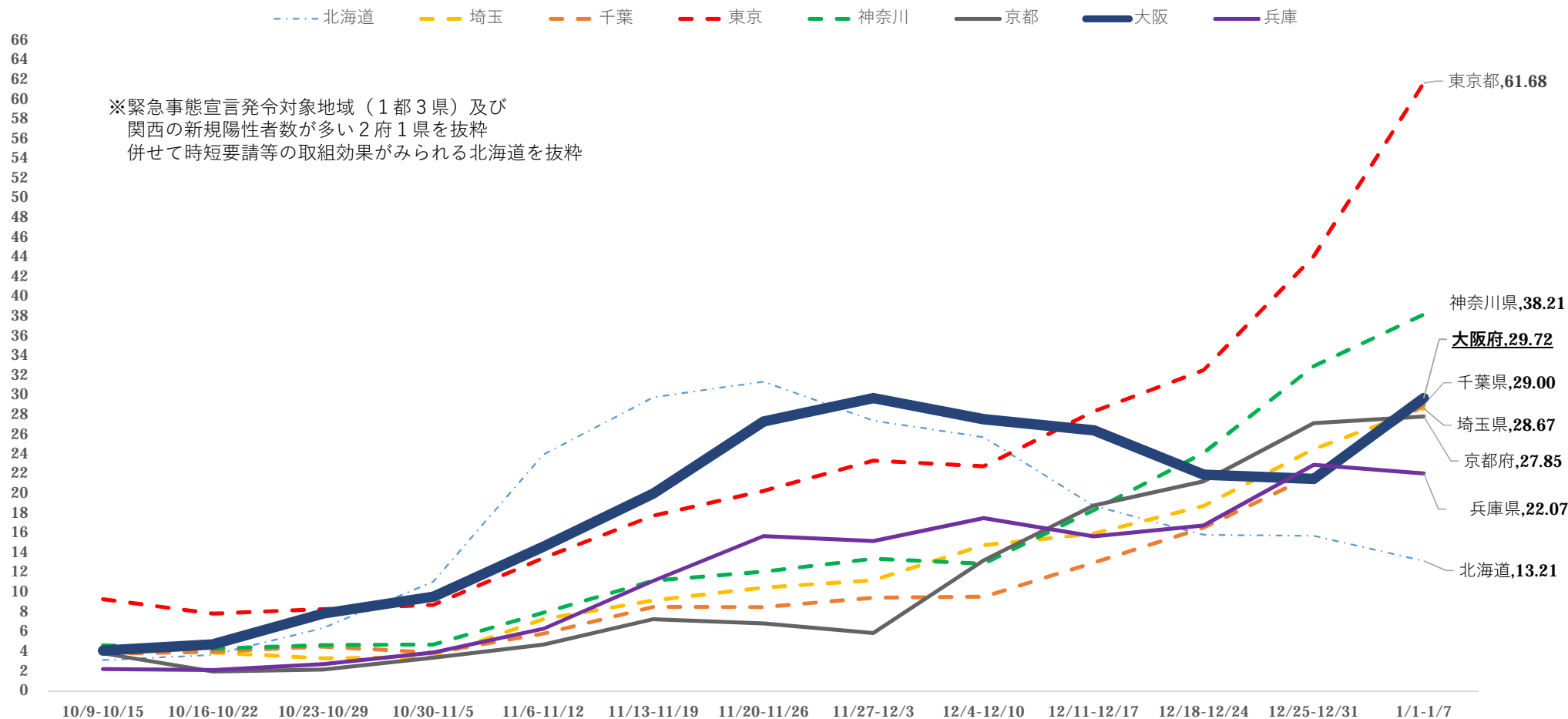
12月30日～1月11日  
府民への不要不急の外出自粛要請  
大阪府全域への施設休業等の要請  
年末年始の「ステイホーム」要請

# 7日間毎の新規陽性者数



11月下旬以降新規陽性者数は減少傾向にあったが、直近1週間で急増（一日平均374名程度）

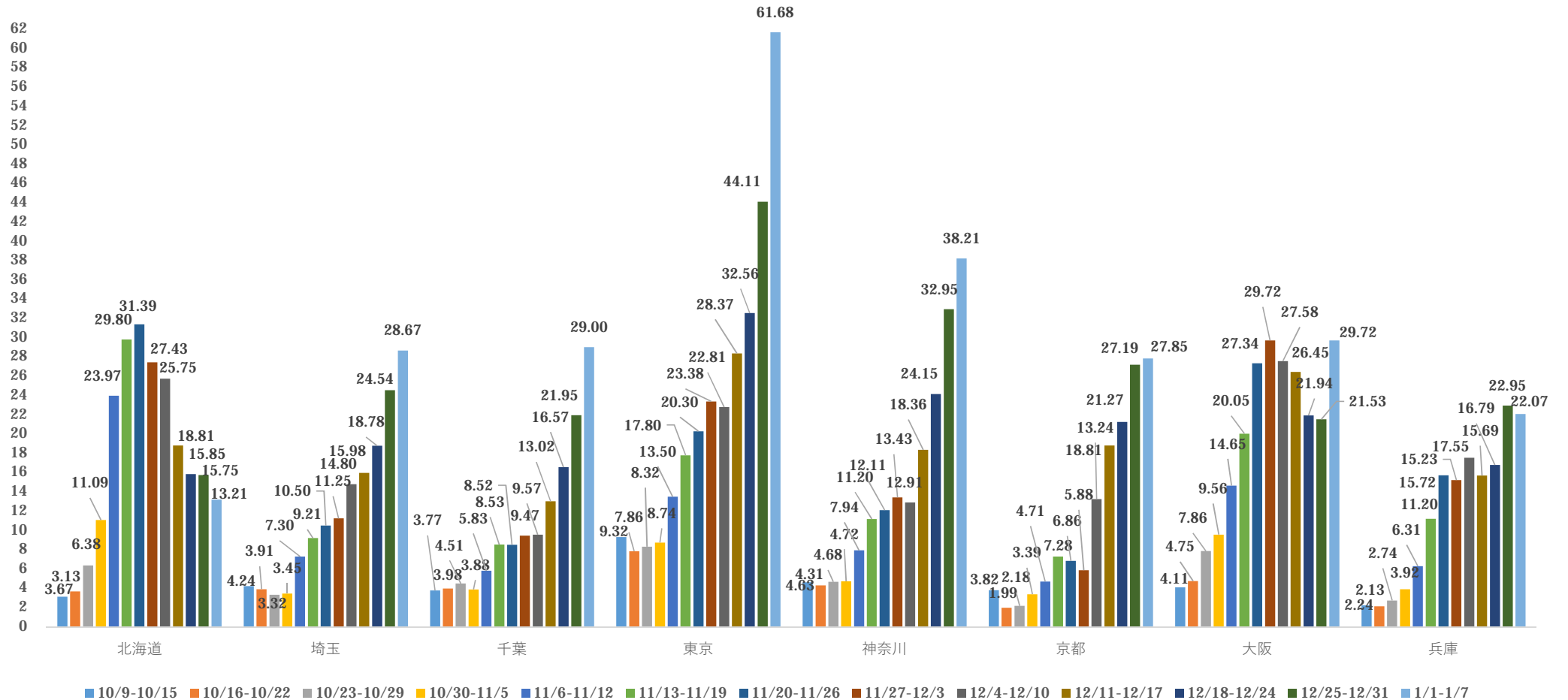
# 週・人口10万人あたり新規陽性者数



※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

**時短要請を行っている都道府県のうち、北海道は減少傾向にある。  
一方、首都圏1都3県は、12月上旬以降、感染拡大が続いている。**

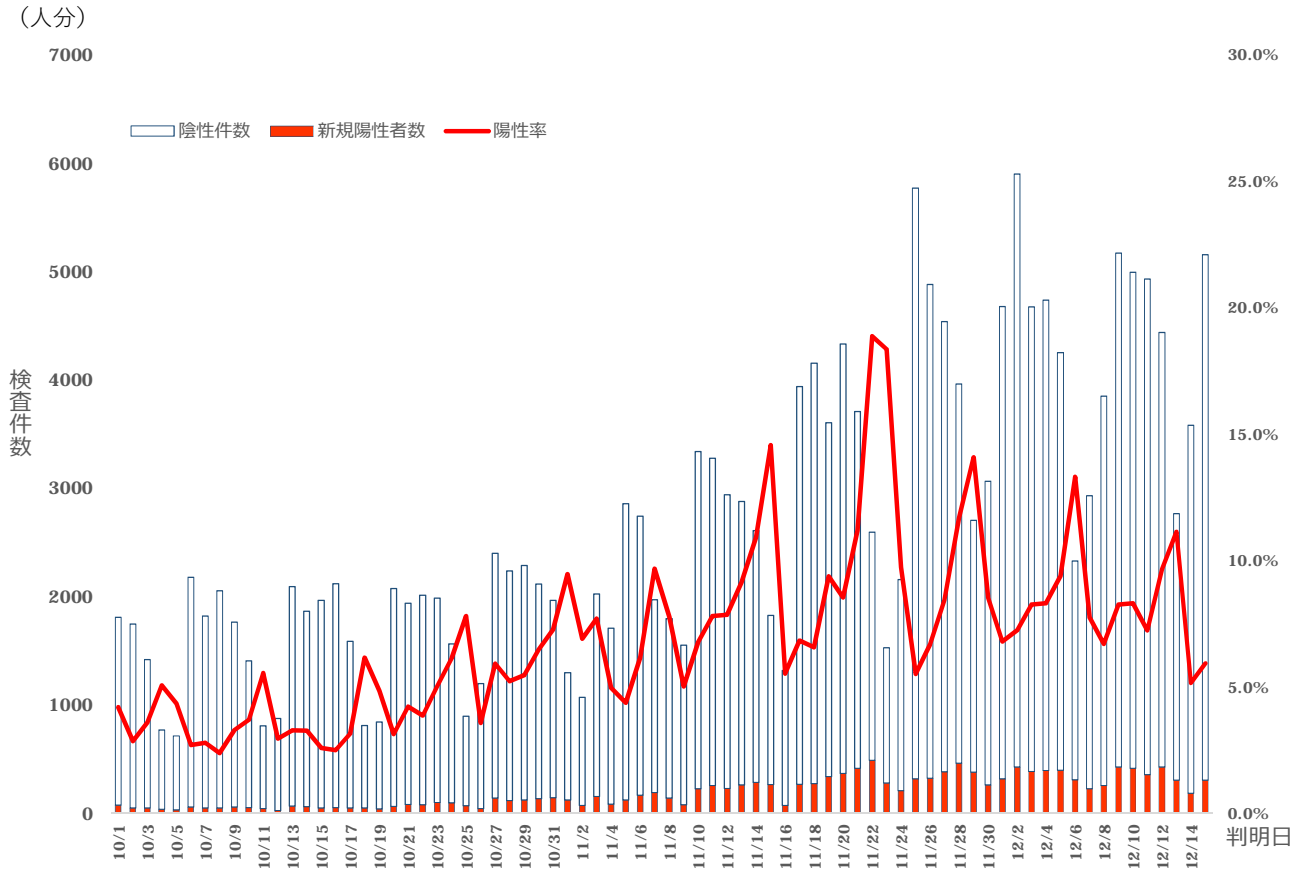
# 週・人口10万人あたり新規陽性者数（都道府県別）



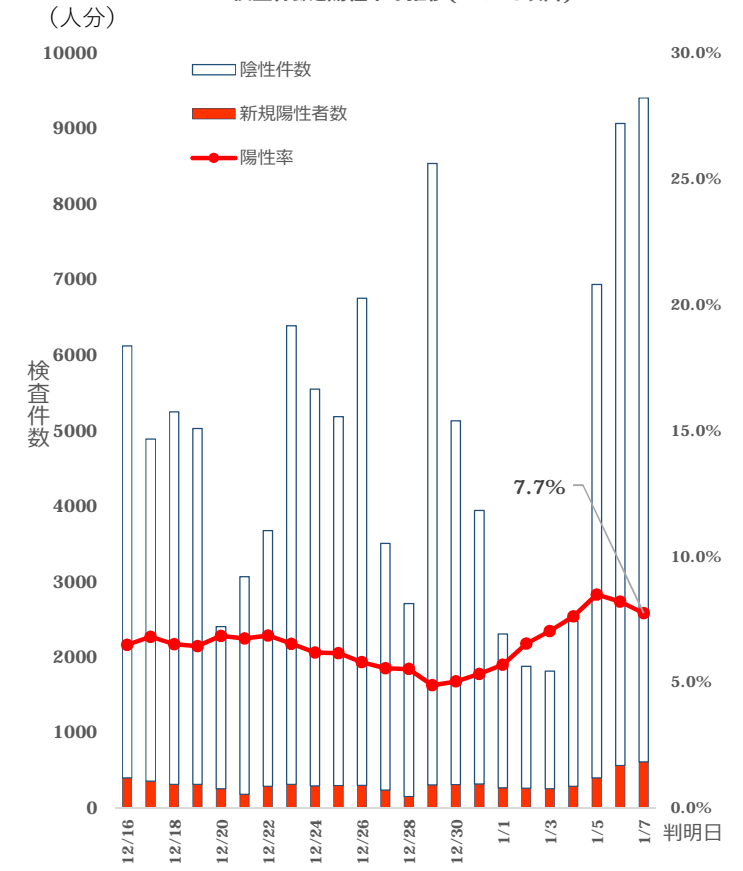
※各都道府県ホームページ公表数値を基に、大阪府の分析による

# 検査件数と陽性率

検査件数（陰性確認除く）と陽性率の推移(12/15まで)



検査件数と陽性率の推移(12/16以降)



※12月15日より国システム（G-MIS）を使用し、算出方法を「1週間の陽性者数／1週間の検体採取をした人数」に変更

検査件数の増加により、12月下旬に陽性率は6%前後（1週間平均）で推移していたが、年末以降、陽性率は増加傾向。

# 「大阪モデル」モニタリング指標の状況

分析事項	モニタリング指標	府民に対する警戒の基準	府民に対する非常事態の基準	府民に対する非常事態解除の基準	府民に対する警戒解除の基準	10/8	11/11	11/20	11/24	12/3	12/14	12/25	1/7	
						27回会議	28回会議	29回会議	30回会議	31回会議	32回会議	33回会議		
(1) 市中での感染拡大状況	①新規陽性者における感染経路不明者7日間移動平均前週増加比	①2以上かつ ②10人以上	—	—	—	0.75	1.75	1.31	1.63	1.03	0.92	0.98	1.42	12/27以降1以上で推移し、1/6及び1/7で急増
	②新規陽性者における感染経路不明者数7日間移動平均		—	—	10人未満	28.71	107.00	157.57	218.57	226.86	170.43	141.57	210.71	12/21以降、増加傾向にあり、1/7に200を超過
	【参考①】新規陽性者における感染経路不明者の割合	—	—	—	—	59.2%	57.4%	62.7%	64.8%	61.1%	43.8%	55.8%	66.7%	1/6に60%を超過（12月上旬以来）
(2) 新規陽性患者の拡大状況	③7日間合計新規陽性者数	120人以上かつ 後半3日間で半数以上	—	—	—	330	1185	1874	2377	2620	2379	1919	2620	12/16以降、微減傾向で推移したが1/3以降増加し、1/7に12月上旬の数値まで増加
	うち後半3日間		—	—	—	159	560	981	981	1131	922	895	1561	
	④直近1週間の人口10万人あたり新規陽性者数	—	—	—	0.5人未満	3.74	13.43	21.24	26.94	29.69	26.96	21.77	29.72	12/16以降、微減傾向で推移したが1/3以降増加し、1/6に25を超過
	【参考②】陽性率（7日間）	—	—	—	—	3.4%	6.8%	8.9%	11.8%	9.3%	8.1%	6.1%	7.7%	12/29以降、増加傾向
(3) 病床等のひっ迫状況	⑤患者受入重症病床利用率	—	70%以上 （「警戒（黄色）」信号が 点灯した日から起算して25 日以内）	7日間連続 60%未満	60%未満	12.2%	30.6%	39.3%	50.0%	66.0%	75.7%	68.6%	71.2%	12/15以降、大阪コロナ重症センター運用開始により、60%台で推移したが、1/3に再び70%を超過
	【参考③】患者受入軽症中等症病床利用率	—	—	—	—	17.1%	32.8%	44.7%	55.4%	53.7%	70.5%	64.3%	63.8%	12/22以降、60%台で推移
	【参考④】患者受入宿泊療養施設部屋数利用率	—	—	—	—	11.4%	20.8%	31.2%	46.3%	35.2%	44.9%	31.5%	37.2%	12/15以降、30%台で推移し、12月上旬～中旬の数値まで増加

## 【大阪府の主な取組状況】

- 10/8（27回会議） 「多人数での宴会等自粛要請」から「3密で唾液が飛び交う環境自粛要請」に変更（10/10～）
- 11/11（28回会議） 「静かに飲食」「マスクの徹底」を要請（11/12～）
- 11/20（29回会議） イエローステージ2に移行、「以人以上」「2時間以上」の宴会・飲み会の自粛要請（11/21～）
- 11/24（30回会議） 大阪市北区、中央区の飲食店営業時間短縮要請（11/27～12/11）
- 12/3（31回会議） レッドステージ1に移行、できる限り不要不急の外出自粛要請（12/4～15）、飲食店営業時間短縮要請の延長（～12/15）
- 12/14（32回会議） 不要不急の外出自粛要請（12/16～29）、大阪市全域の飲食店営業時間短縮要請（12/16～29）
- 12/25（33回会議） 不要不急の外出自粛要請延長（～1/11）、大阪市全域の飲食店営業時間短縮要請延長（～1/11）

# (参考) 新型コロナウイルス感染症対策分科会におけるモニタリング指標の状況

## 【分科会の指標の考え方】

ステージの移行を検知する指標はあくまで目安。指標をもって機械的に判断するのではなく、これらの指標を総合的に判断。

※ステージIII「感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階」

ステージIV「爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階」

※ステージI・IIの指標設定はなし

ステージ	指標及び目安		10/8	11/11	11/20	11/24	12/3	12/14	12/25	1/7	1/7時点の 目安に対する状況	(参考) ステージIII 基準到達状況	目安に対する 状況		
			27回会議	28回会議	29回会議	30回会議	31回会議	32回会議	33回会議						
ステージIV	医療提供体制等の負荷	①病床の逼迫具合	病床全体	・最大確保病床(1615床)の占有率 50%以上	13.0%	28.0%	38.2%	47.5%	49.2%	63.2%	63.2%	63.2%	●		
				・現時点の確保病床数(1572床)の占有率	16.4%	32.5%	43.9%	54.6%	55.4%	71.2%	65.0%	64.9%	—		
		うち、重症者用病床	・最大確保病床(215床)の占有率 50%以上	10.7%	29.3%	37.7%	47.9%	63.3%	72.6%	75.3%	78.1%	●	20%以上	●	
			・現時点の確保病床数(236床)の占有率	12.2%	30.6%	39.3%	50.0%	66.0%	75.7%	68.6%	71.2%	—	25%以上	●	
	②療養者数	人口10万人あたりの全療養者数25人以上	5.11	16.64	26.61	36.60	51.77	46.97	40.06	50.67	●	15人以上	●		
	監視体制	③陽性率	10% ※1週間の平均	3.4%	6.8%	8.9%	11.8%	9.3%	8.1%	6.1%	7.7%	○	ステージIVと同基準	○	
	感染の状況	④新規報告数	25人/10万人/週 以上	3.74	13.43	21.24	26.94	29.69	26.96	21.77	29.72	●	15人以上	●	
		⑤直近一週間と先週一週間の比較	直近一週間が先週一週間より多い	直近一週間	330	1,185	1,874	2,377	2,620	2,379	1,919	2,620	●	ステージIVと同基準	●
				先週一週間	398	843	1,385	1,643	2,410	2,462	2,284	1,898			
	⑥感染経路不明割合	50% ※1週間の平均	60.9%	63.2%	58.6%	64.4%	60.6%	48.9%	51.6%	56.3%	●	ステージIVと同基準	●		

※重症者用病床に関する占有率は、大阪府基準により算出。

●：基準外 ○：基準内

### 【大阪府の主な取組状況】

- 10/8 (27回会議) 「多人数での宴会等自粛要請」から「3密で唾液が飛び交う環境自粛要請」に変更 (10/10~)
- 11/11 (28回会議) 「静かに飲食」「マスクの徹底」を要請 (11/12~)
- 11/20 (29回会議) イエローステージ2に移行、「5人以上」「2時間以上」の宴会・飲み会の自粛要請 (11/21~)
- 11/24 (30回会議) 大阪市北区、中央区の飲食店営業時間短縮要請 (11/27~12/11)
- 12/3 (31回会議) レッドステージ1に移行、できる限り不要不急の外出自粛要請 (12/4~15)、飲食店営業時間短縮要請の延長 (~12/15)
- 12/14 (32回会議) 不要不急の外出自粛要請 (12/16~29)、大阪市全域の飲食店営業時間短縮要請 (12/16~29)
- 12/25 (33回会議) 不要不急の外出自粛要請延長 (~1/11)、大阪市全域の飲食店営業時間短縮要請延長 (~1/11)

## (参考) 分科会におけるモニタリング指標 首都圏及び関西圏の状況

### 【新型コロナウイルス感染症対策分科会 緊急事態宣言についての提言（令和3年1月5日）（抜粋）】

- 東京都を中心とした首都圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）では、既にステージⅣ相当の対策が必要な段階に達している。即ち、感染拡大が続き、重症者及び死亡者も増加し、通常の医療、保健、高齢者福祉にも深刻な支障が生じてきている。
- 首都圏では人流が減らず、**12月29日**の東京都のモニタリング会議でも、医療ひっ迫が更に深刻化してきたと評価された。その上、**12月31日**は、東京都を中心とした首都圏においては、新規報告数がこれまでの最高値を示した。
- こうした中、令和3年1月2日には、国と1都3県との間で、一体感を持って、上記の緊急事態措置に相当する対策を行うことが合意された。以上の諸点から、まさに今、緊急事態宣言を発出する時期に至ったと考える。

(参考 1/5時点)

分科会6指標	ステージ3	ステージ4	京都府 1/6	大阪府 1/7	兵庫県 1/6	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県
最大確保病床占有率 (%)	20%以上	50%以上	32.9	63.2	72.7	75.6	35.1	59.0	44.3
重症用 最大確保病床占有率 (%)	20%以上	50%以上	17.4	78.1	45.0	50.5	43.0	35.0	12.2
人口10万人あたりの全療養者数 (人)	15人以上	25人以上	43.43	50.67	20.21	82.06	37.09	47.2	45.33
陽性率 (%)	10%	10%	12.3	7.7	10.2	14.4	18.1	8.4	9.3
1週間・10万人あたりの新規報告者数 (人)	15人以上	25人以上	26.53	29.72	20.40	49.10	35.48	24.90	24.37
新規報告者数の前週比 (倍)	1以上	1以上	0.98	1.38	0.92	1.24	1.14	1.05	1.19
1週間あたりの感染経路不明者の割合 (%)	50%	50%	—	56.3	—	—	62.9	42.6	—

※ステージⅢは、上記のほか、「現時点の確保病床数の占有率25%以上」及び「重症用 現時点の確保病床数の占有率25%以上」も指標として設定

※分科会指標の状況を公表している神奈川県、埼玉県を除き、各数値は各都府県のホームページより、病床数については厚労省「病床数等に関する調査結果」（12月30日0時時点）（東京都はモニタリング会議資料）を元に大阪府が分析したものであり、各都府県の分析数値と異なる可能性がある。



# 推定感染日別陽性者数

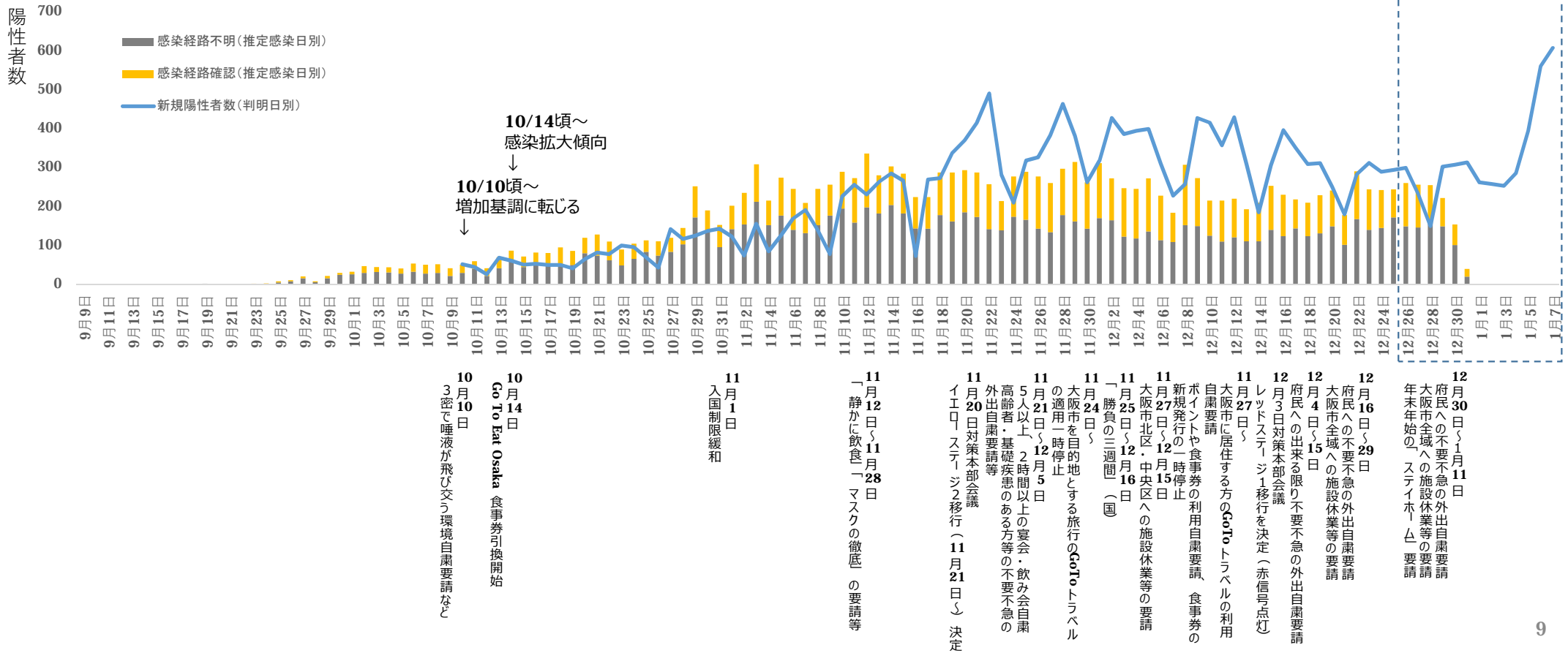
(10月10日以降1月7日までの判明日分) (N=18,046名(調査中、不明、無症状3,516名を除く))

※推定感染日：発症日から6日前と仮定

潜伏期間は1-14日間(一般的には約5-6日)とされていることから、6日前と仮定  
 (「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(R2.5.25変更)」より)

※府独自のシステム(kintone)から国の情報管理支援システム(HER-SYS、G-MIS)への移行  
 (11/16~)に伴い、有症状で発症日確認中の事例について、陽性判明日から13日遡って算出

感染から発症まで6日、  
 発症から陽性判明まで7日  
 と仮定すると、  
 概ねこの期間は今後、新規  
 陽性者の発生に伴い、増加。



# 発症日別陽性者数（1月5日以降公表分）

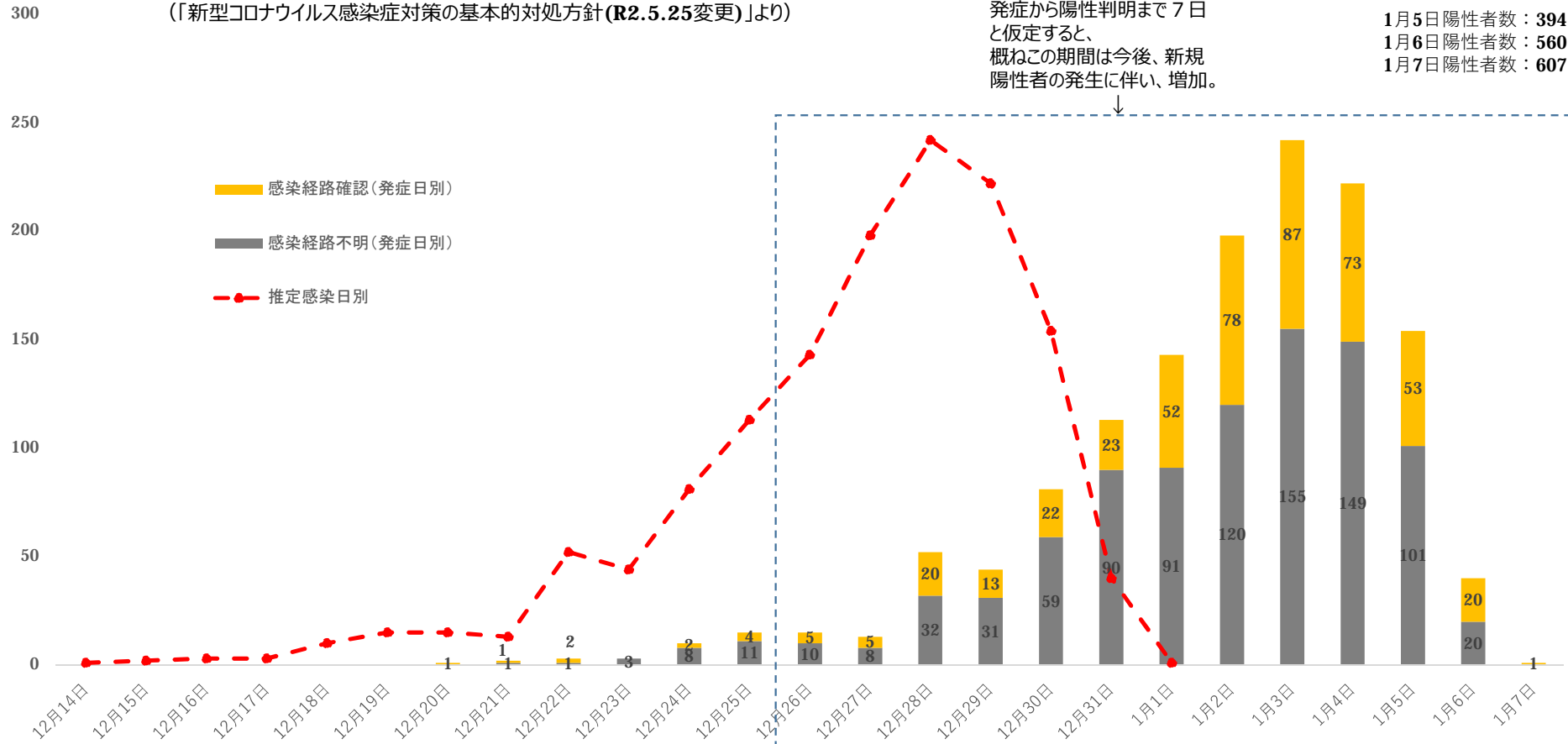
（1月5日から7日の判明日分）（N=1,352名（調査中、不明、無症状209名を除く））

※推定感染日：発症日から6日前と仮定

潜伏期間は1-14日間（一般的には約5-6日）とされていることから、6日前と仮定  
（「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（R2.5.25変更）」より）

感染から発症まで6日、  
発症から陽性判明まで7日  
と仮定すると、  
概ねこの期間は今後、新規  
陽性者の発生に伴い、増加。

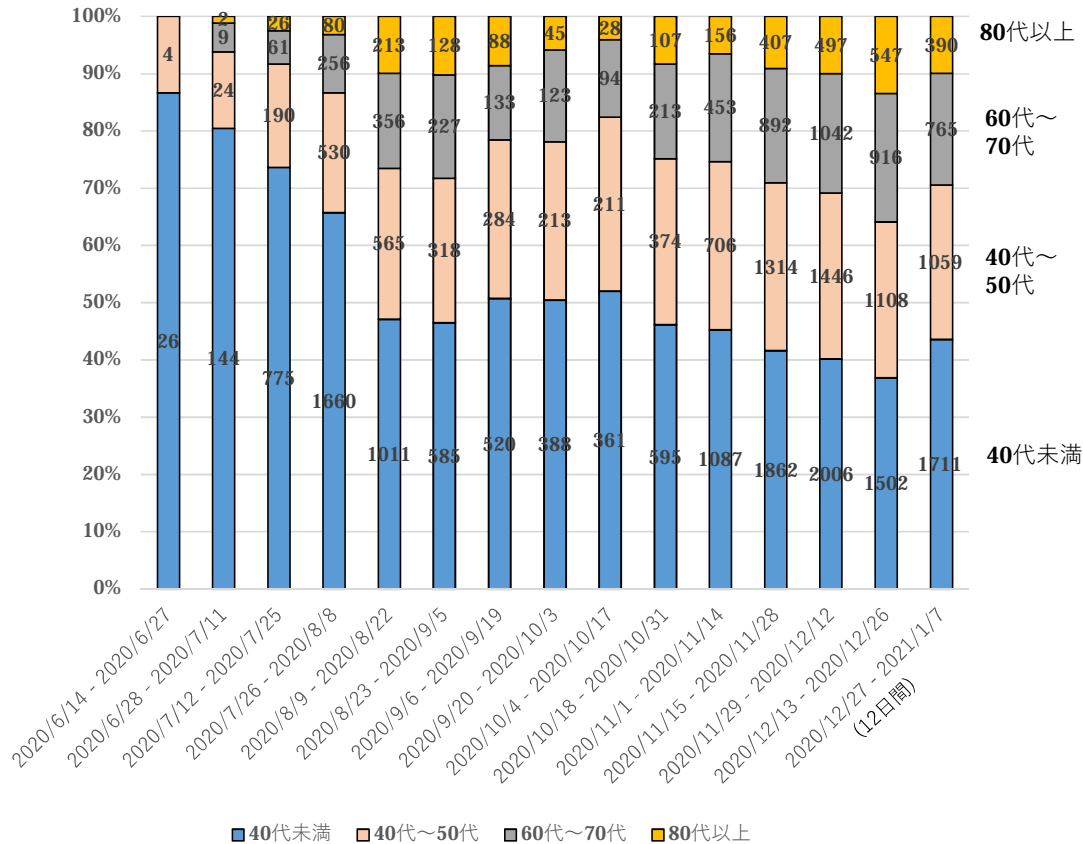
1月5日陽性者数：394  
1月6日陽性者数：560  
1月7日陽性者数：607



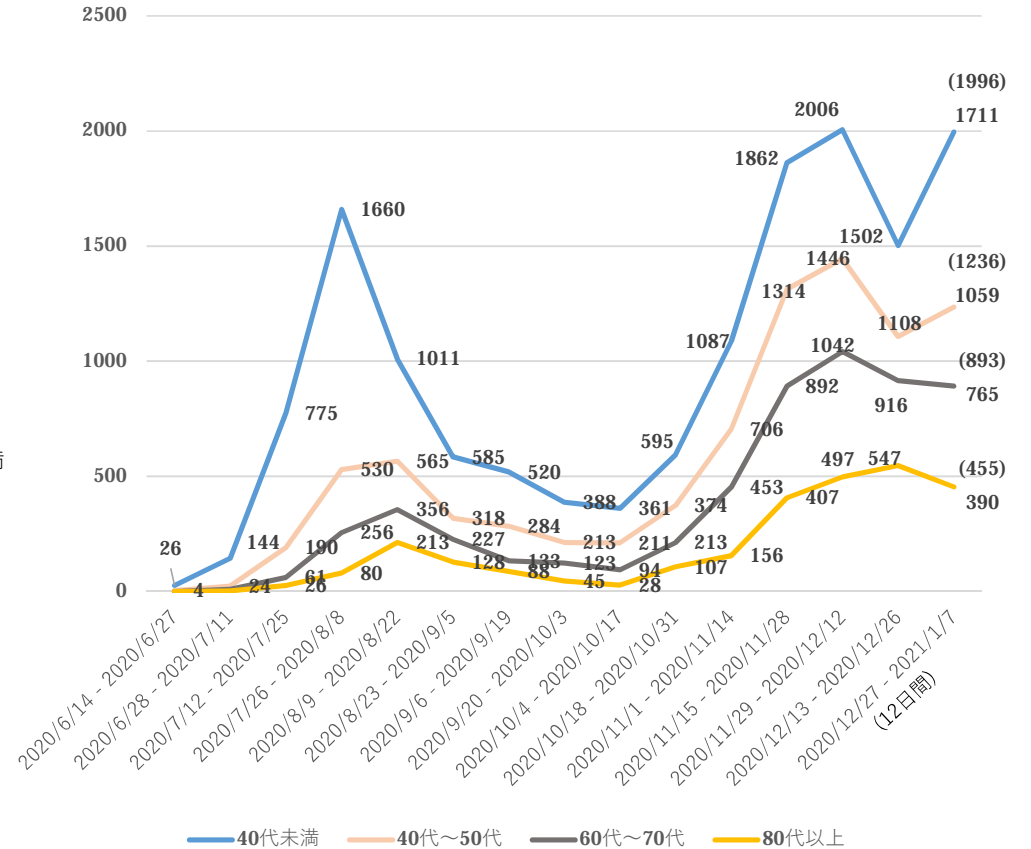
# 陽性者の年齢区分

(6月14日以降1月7日までに判明した30,833事例の状況)

陽性者の年齢区分 (割合, 2週間単位)



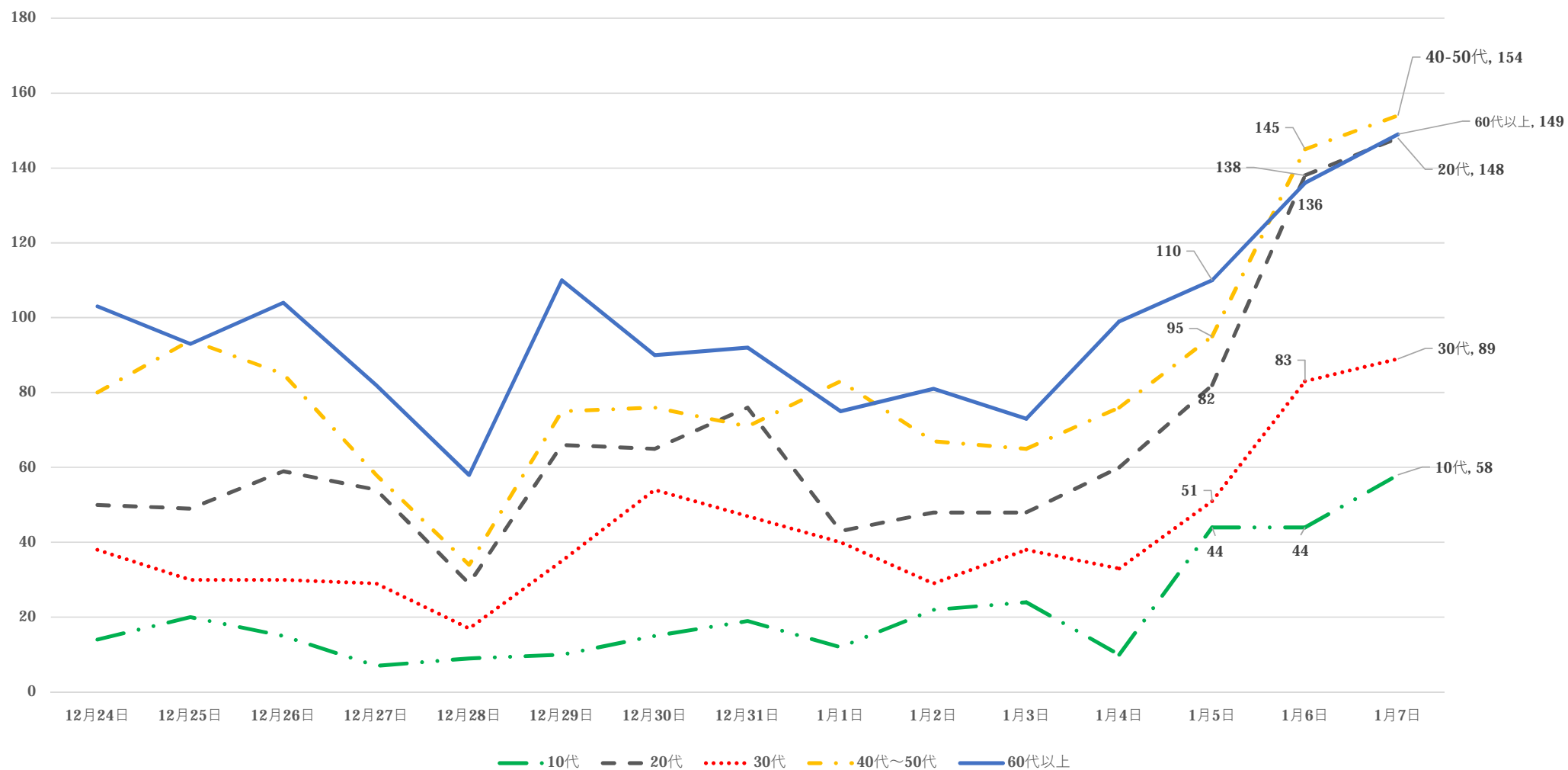
陽性者の年齢区分 (実数, 2週間単位)



第三波発生当初は60代以上の割合が2割弱であったが、12月下旬では4割弱まで増加。  
直近の12日間では、60代以上の割合が3割に減少し、40代未満の割合が再び増加。

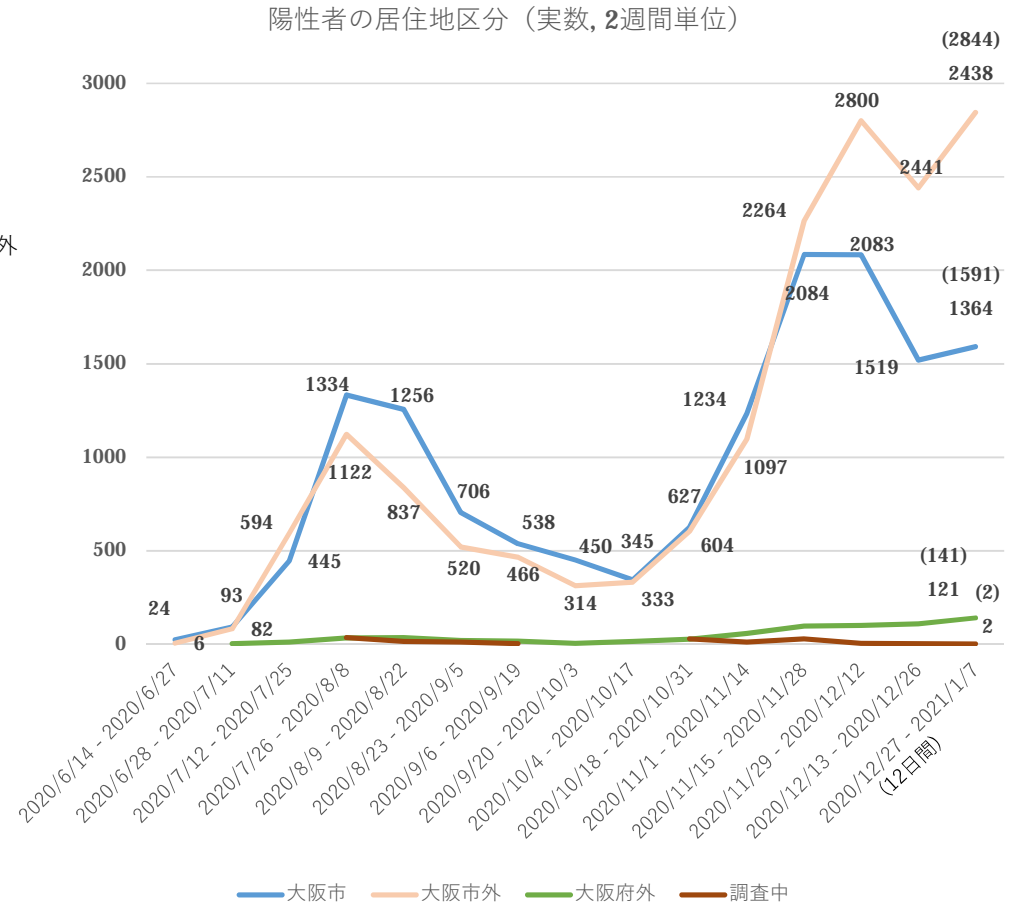
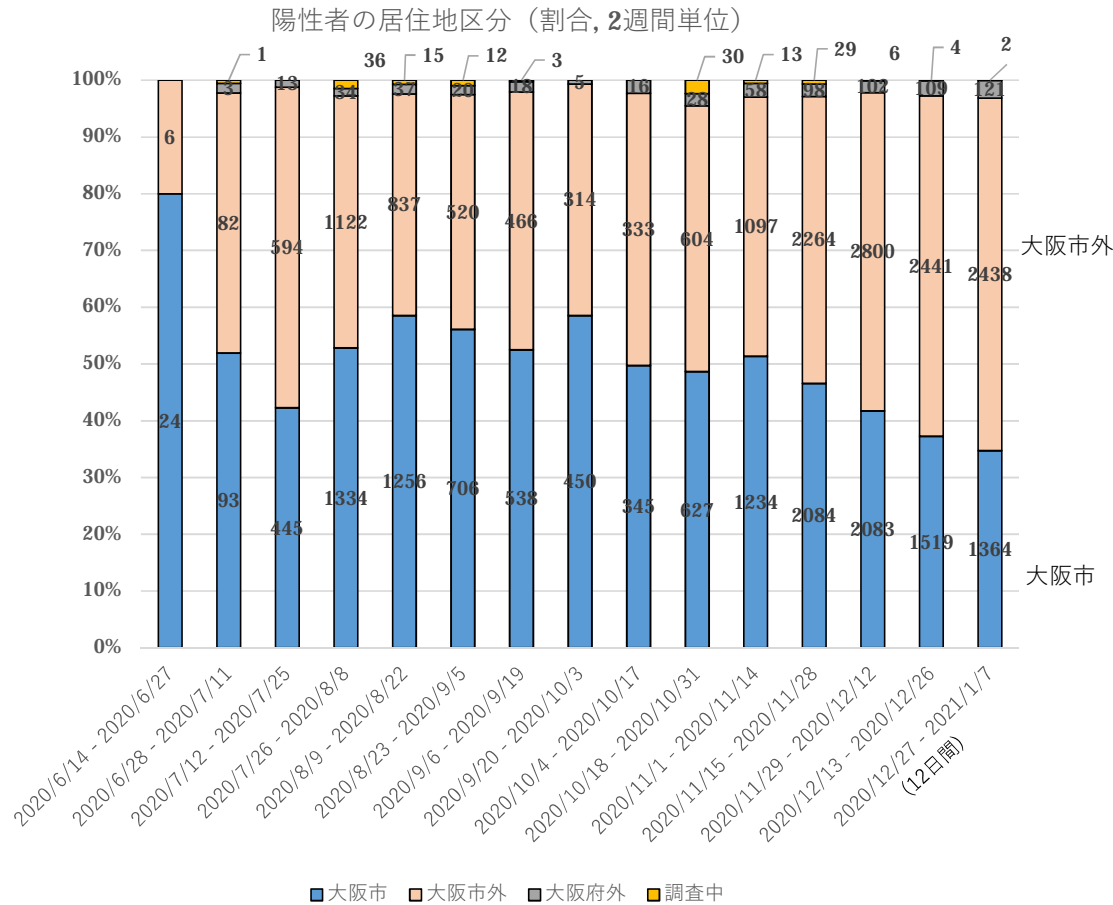
※カッコ書きは、14日間の推定値  
※グラフは推定値で作成

# 陽性者の年齢区分(12月24日以降 日別)



# 陽性者の居住地

(6月14日以降1月7日までに判明した30,833事例の状況)

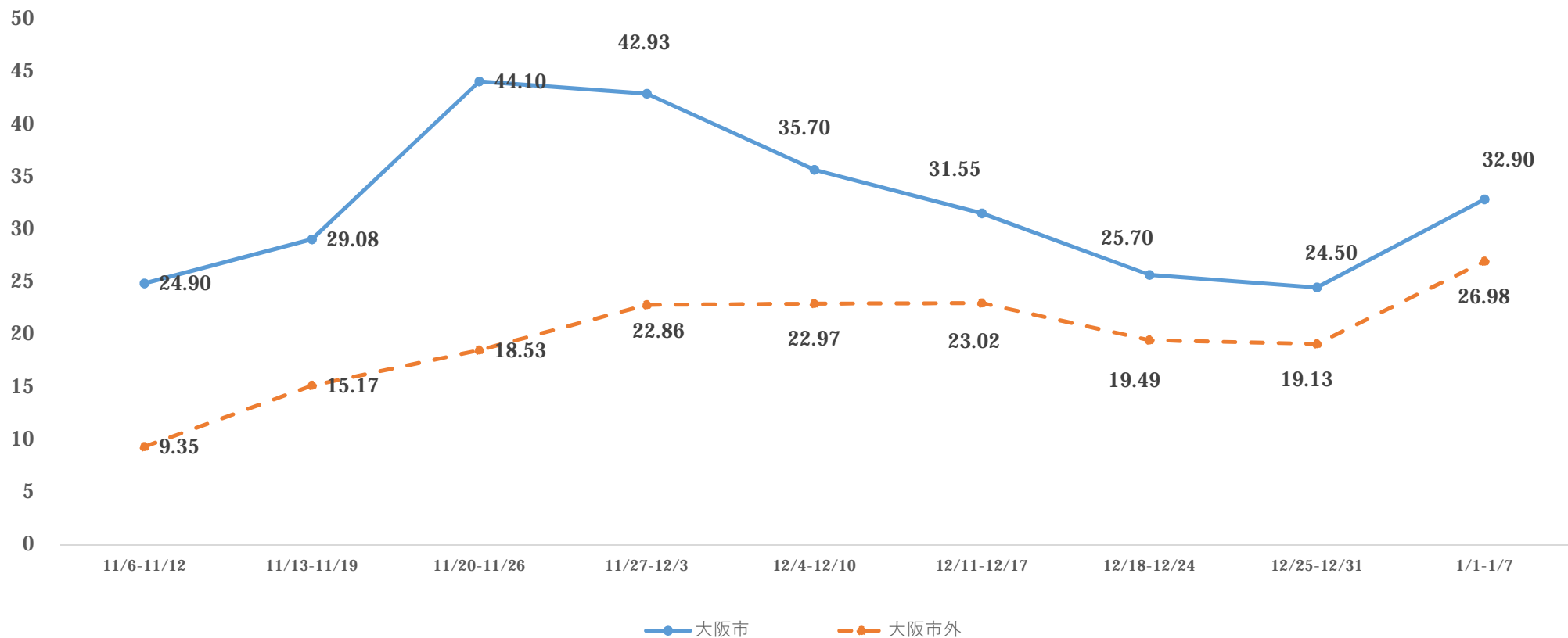


大阪市内居住者の割合の減少が続いている。

※カッコ書きは、14日間の推定値  
※グラフは推定値で作成

# 大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり）

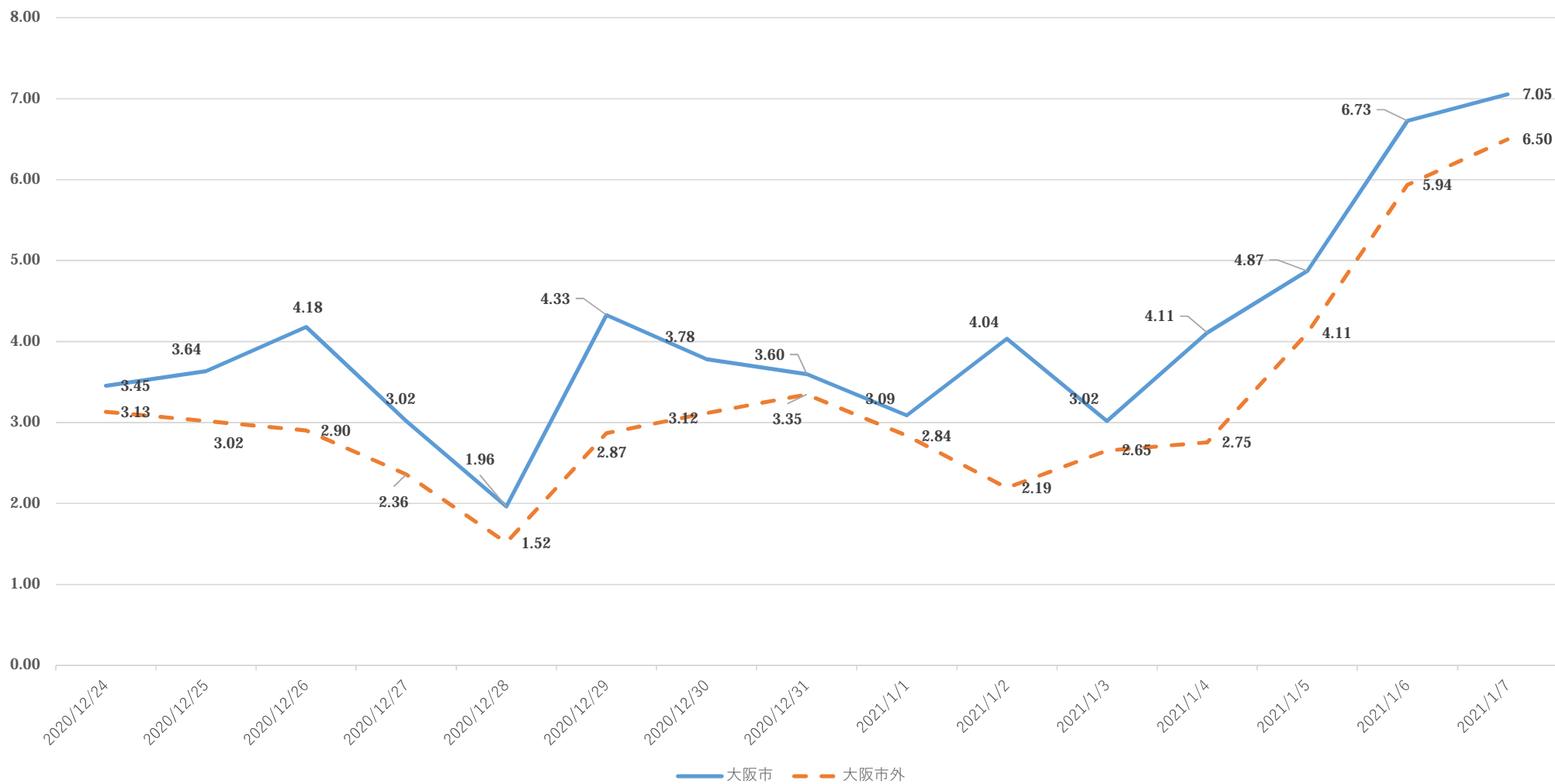
※市内外は居住地による  
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く



大阪市内の週・人口10万人あたりの新規陽性者数は11月下旬以降減少していたが、直近1週間では大阪市内、大阪府外ともに増加。

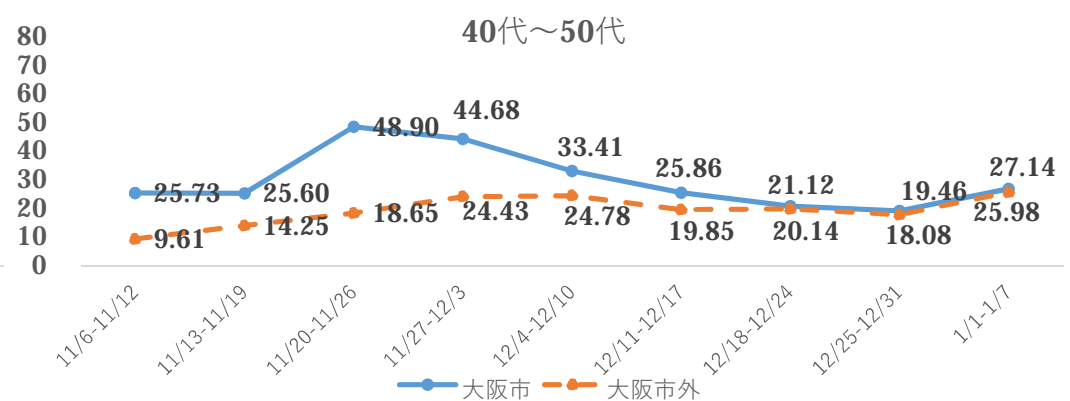
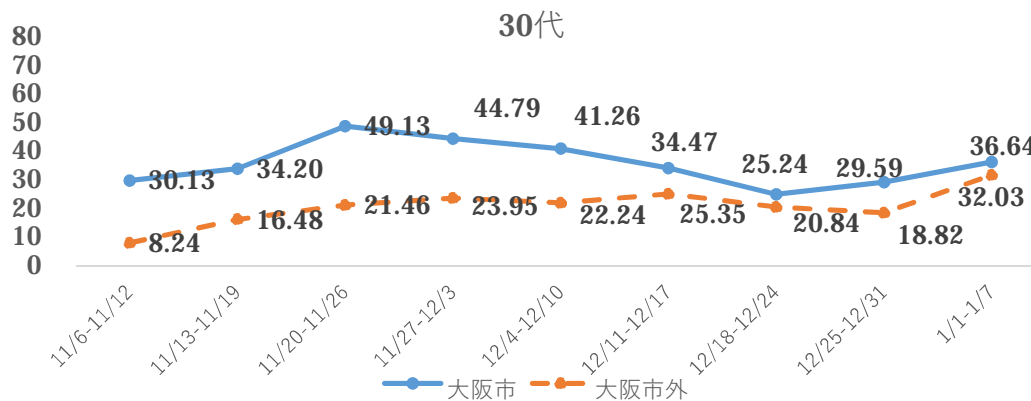
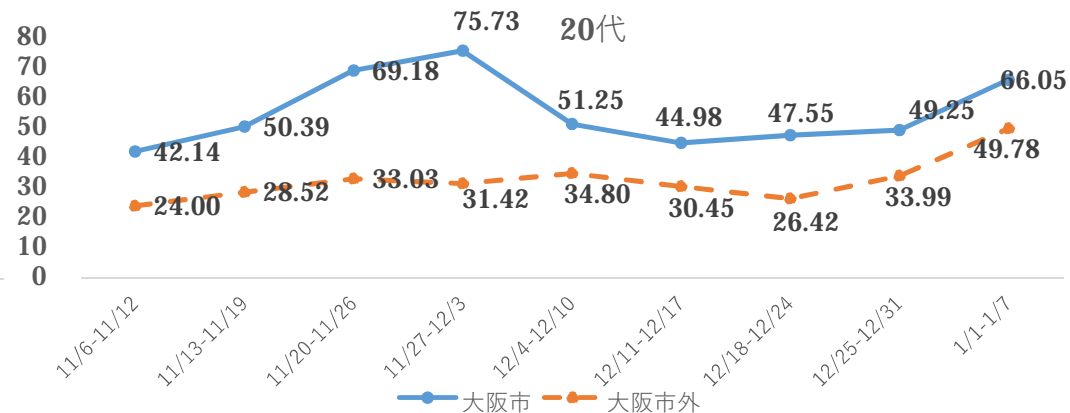
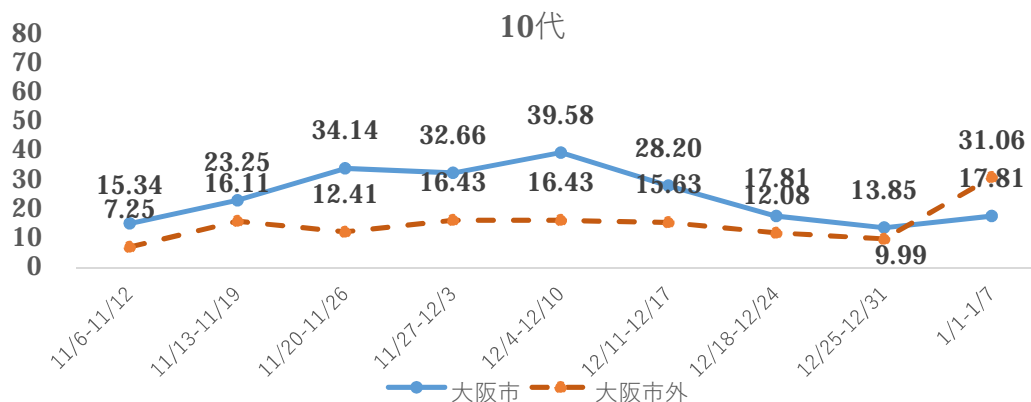
# 大阪市・市外の陽性者比較（人口10万人あたり 12月24日以降 日別）

※市内外は居住地による  
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く



# 大阪市・市外 年代別陽性者比較 (人口10万人あたり)

※市内外は居住地による  
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

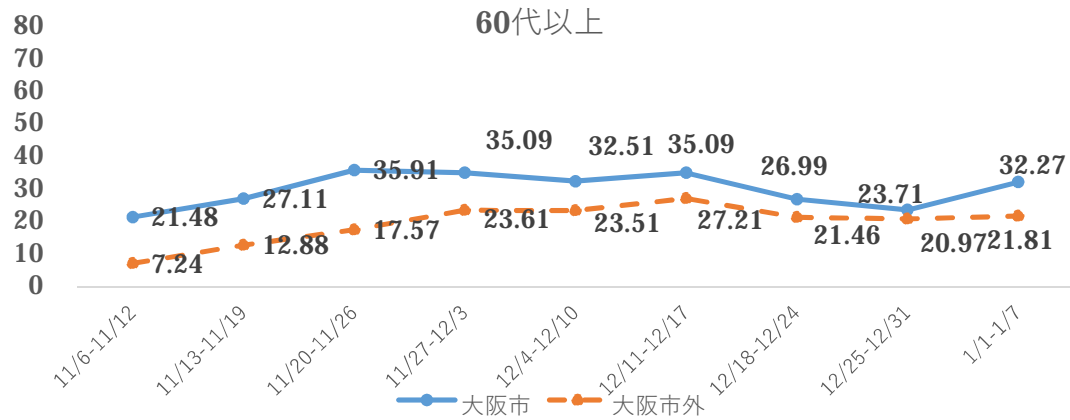


大阪市内の10代、20代の人口10万人あたり新規陽性者数は11月下旬以降減少し、市外も微減傾向にあった。しかし、10代は直近1週間で増加し、20代は12月中旬より増加に転じている。  
 大阪市内の30代、40~50代の人口10万人あたり新規陽性者数は11月下旬以降減少し、市外は微減傾向にあったが、いずれも直近1週間又は2週間で増加に転じている。



# 大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり）

※市内外は居住地による  
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

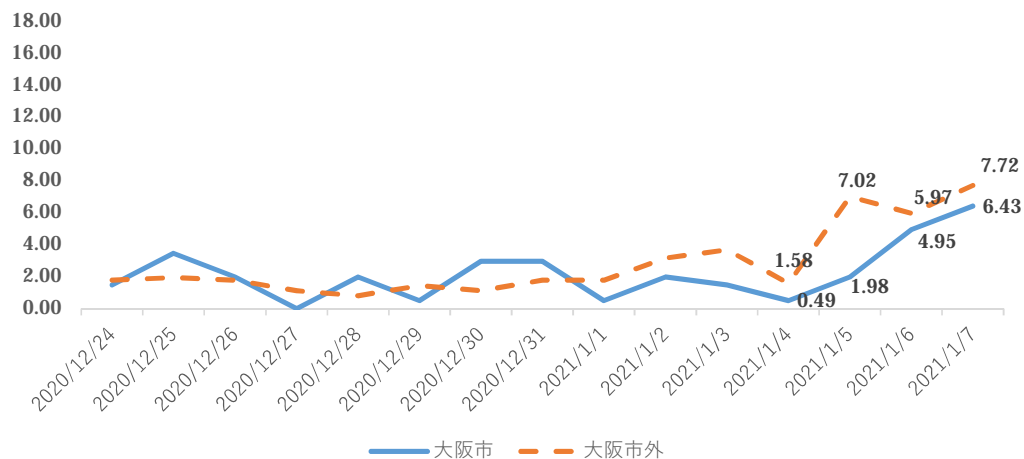


60代以上の人口10万人あたり新規陽性者数は、11月下旬以降、大阪市内、市外ともに横ばいから微減傾向であったが、市内については直近1週間で増加に転じている。

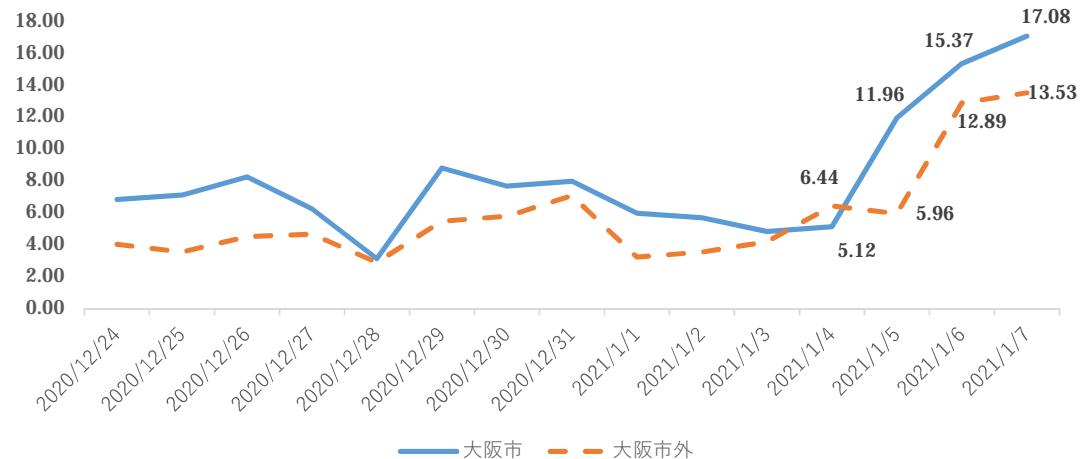
# 大阪市・市外 年代別陽性者比較 (人口10万人あたり、12月24日以降)

※市内外は居住地による  
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

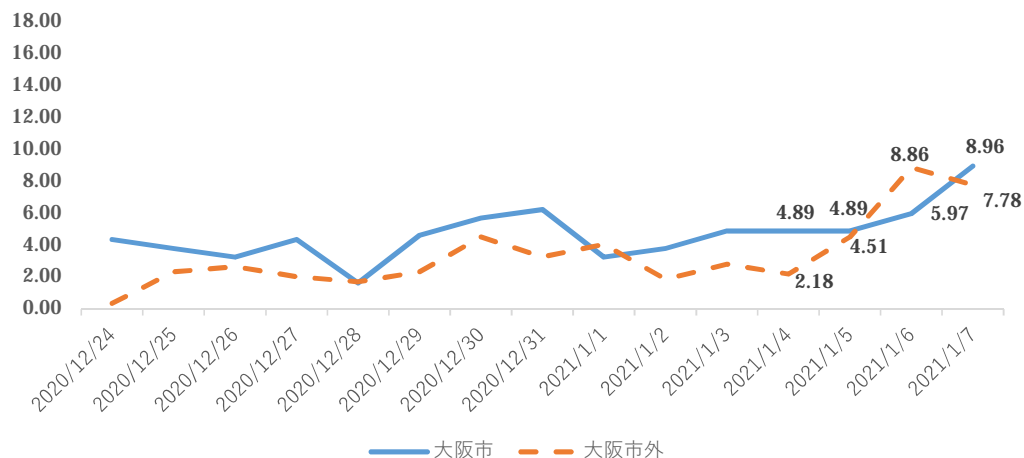
## 10代



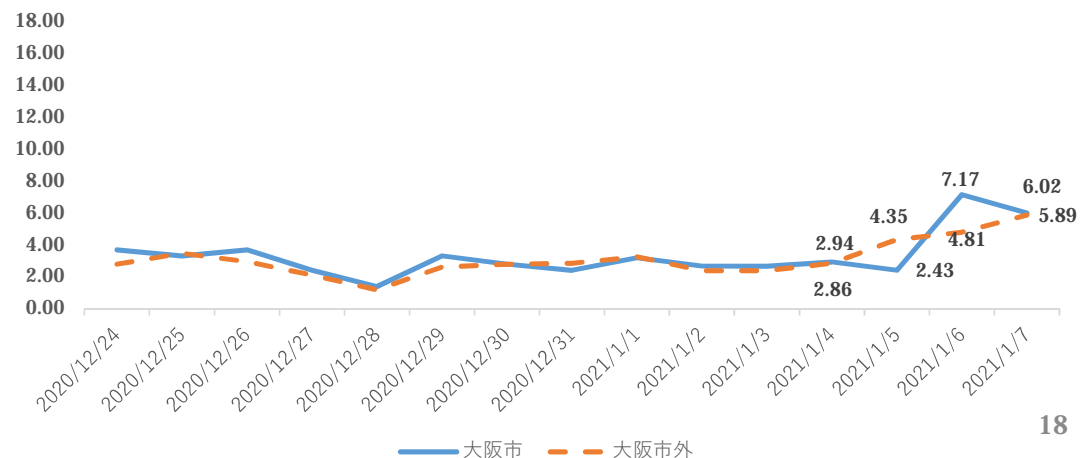
## 20代



## 30代



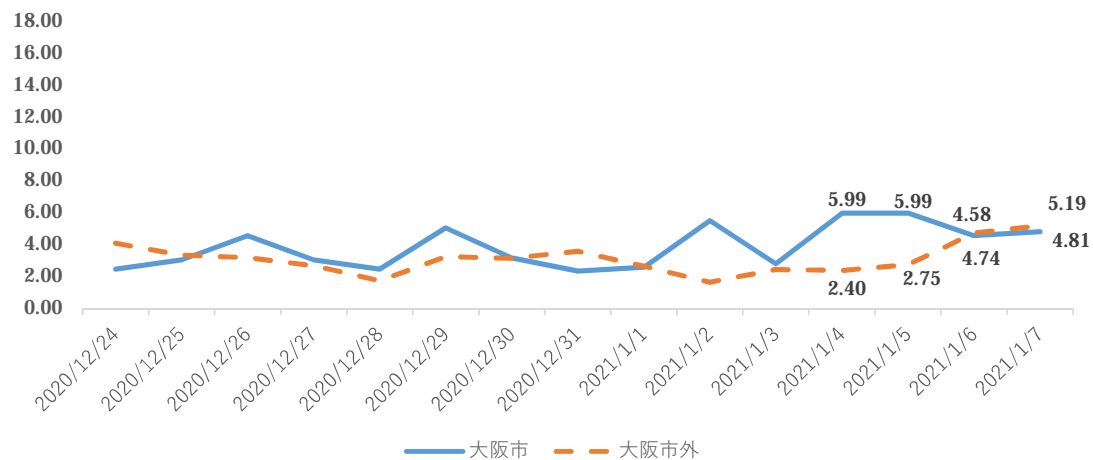
## 40~50代



# 大阪市・市外 年代別陽性者比較（人口10万人あたり、12月24日以降）

※市内外は居住地による  
※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

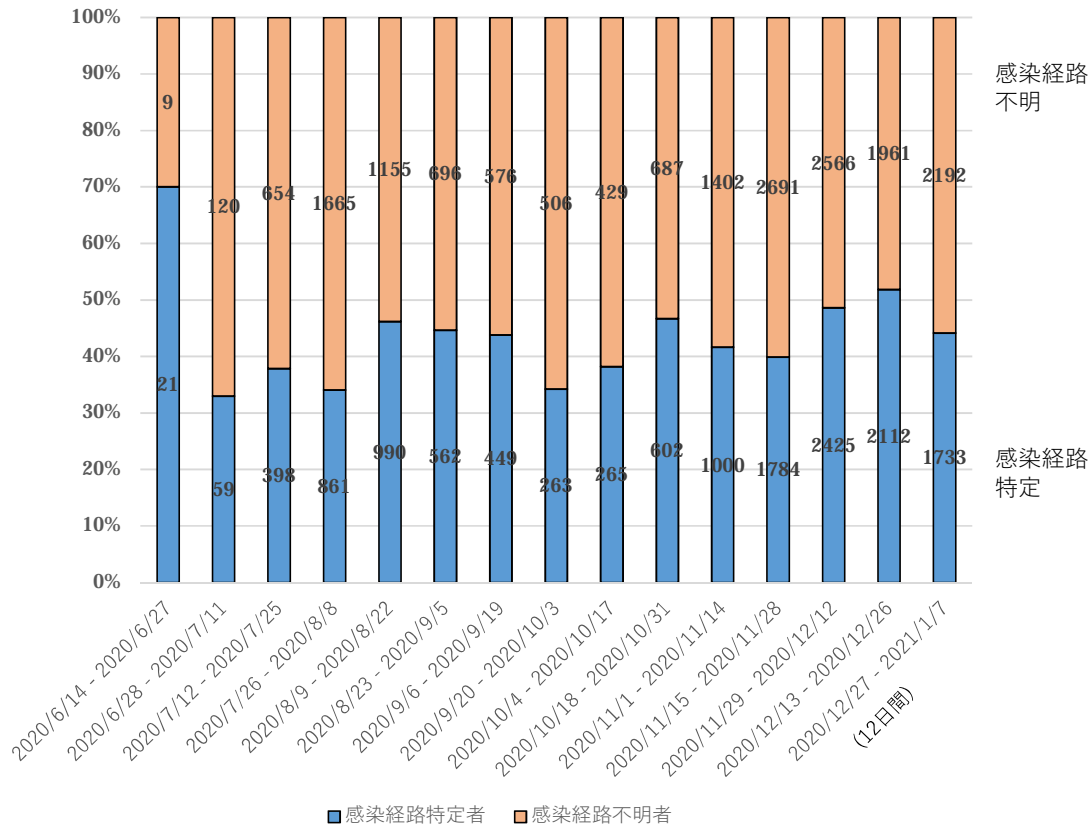
## 60代以上



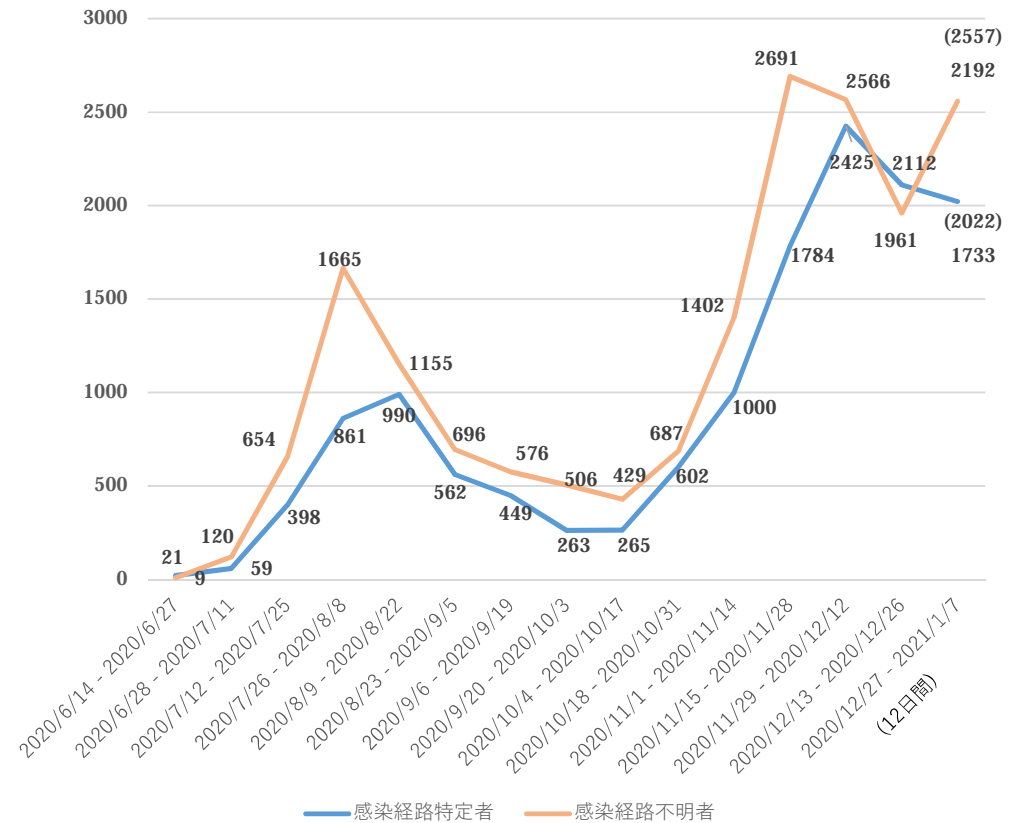
# 陽性者の感染経路の状況

(6月14日以降1月7日までに判明した30,833事例の状況)

感染経路の状況 (割合)



感染経路の状況 (実数)



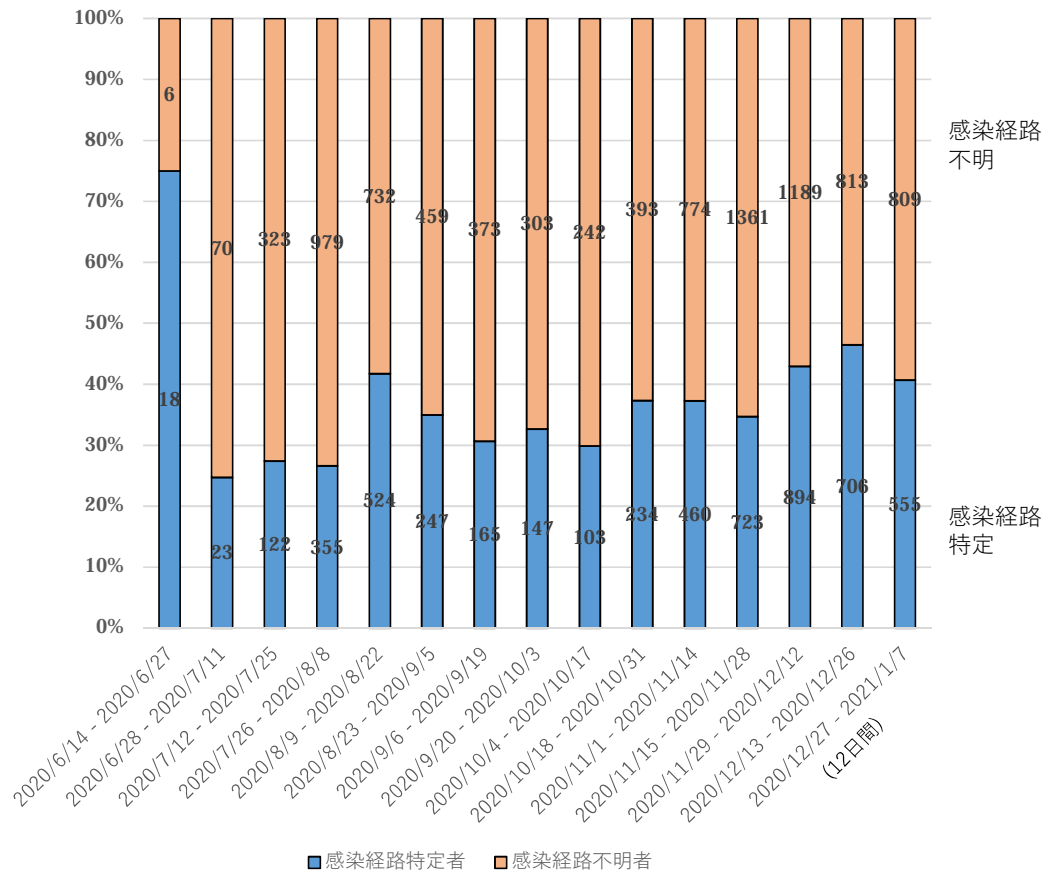
**感染経路不明の割合は、第三波発生当初の6割強から12月下旬には5割弱に減少したが、直近12日間では再び増加。**

※カッコ書きは、14日間の推定値  
※グラフは推定値で作成

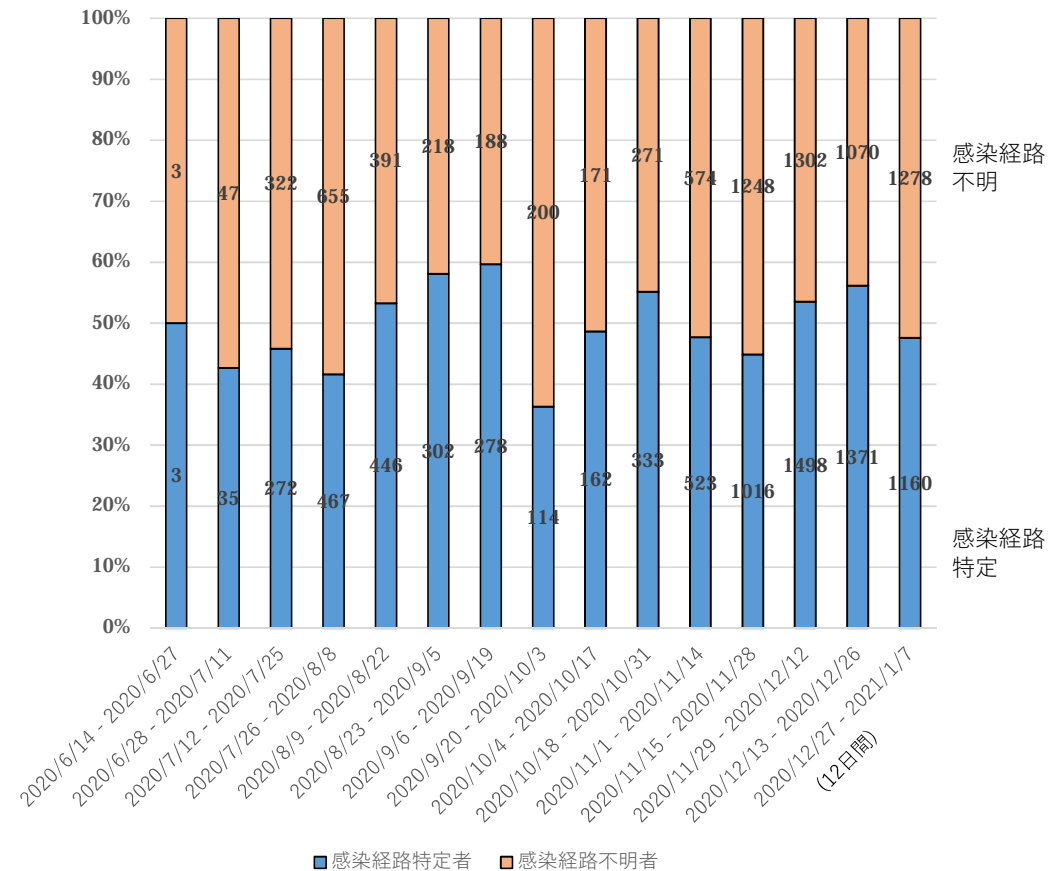
# 陽性者の感染経路の状況（大阪市内外）

※市内外は居住地による  
 ※居住地が非公表、不明、調査中、他都道府県等を除く

感染経路の状況（大阪市内）



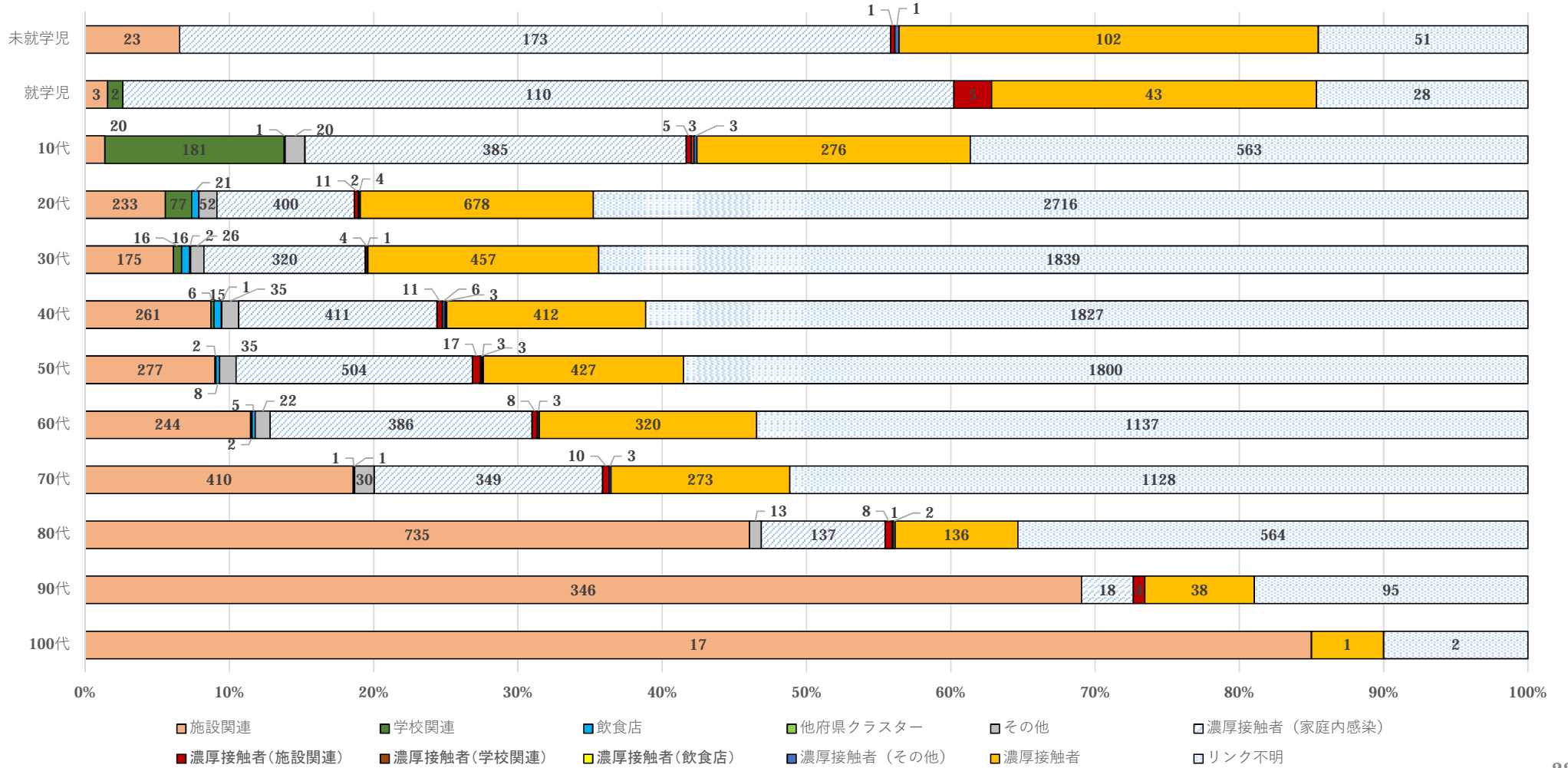
感染経路の状況（大阪市外）



大阪市内における感染経路不明の割合は、第三波発生当初の7割から12月下旬には5割強に減少したが、直近12日間では再び増加。市外についても同様に12月下旬には4割強に減少したが、直近で再び増加。

# 年代別感染経路（第三波）

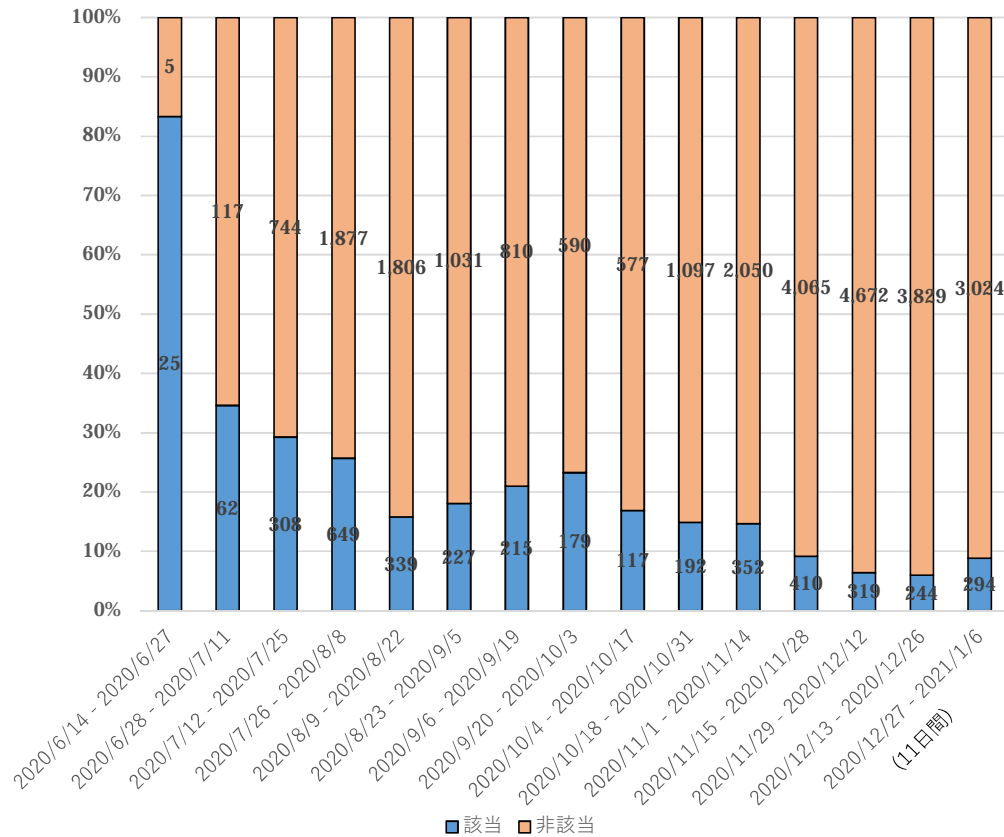
（10月10日以降1月7日までに判明した21,562事例の状況）



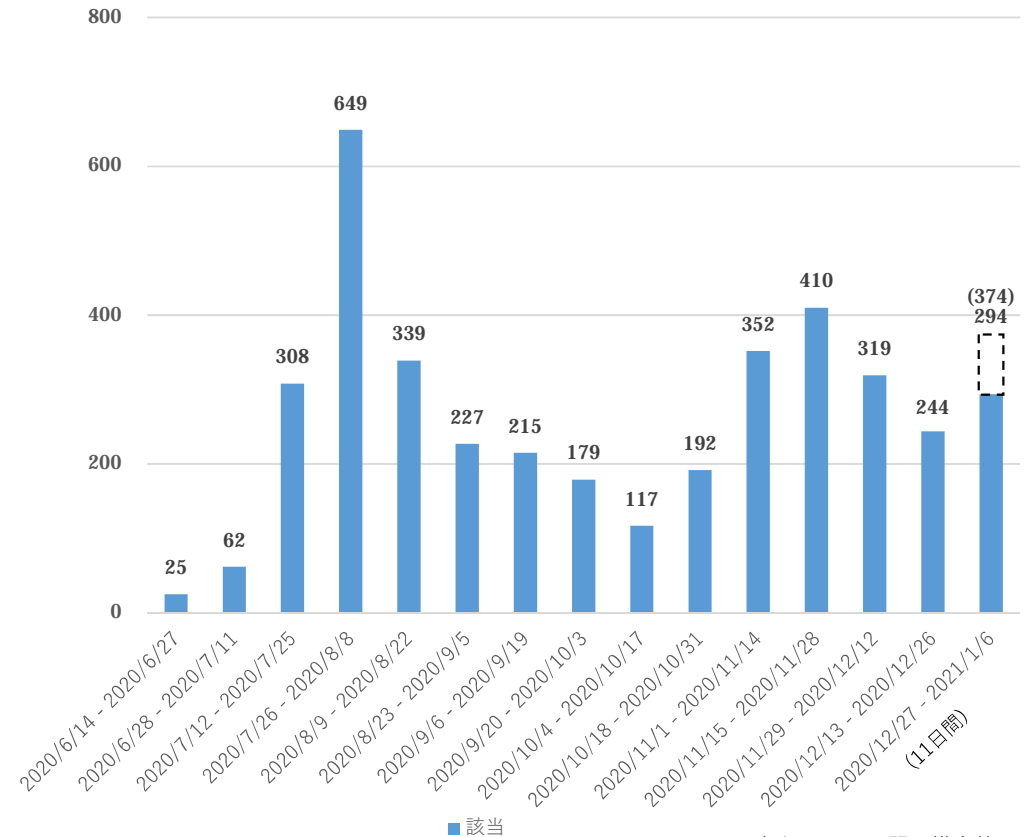
# 夜の街の関係者及び滞在者の状況（陽性者全体における該当者）

（6月14日以降1月6日までに判明した30,226事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（全件：実数）



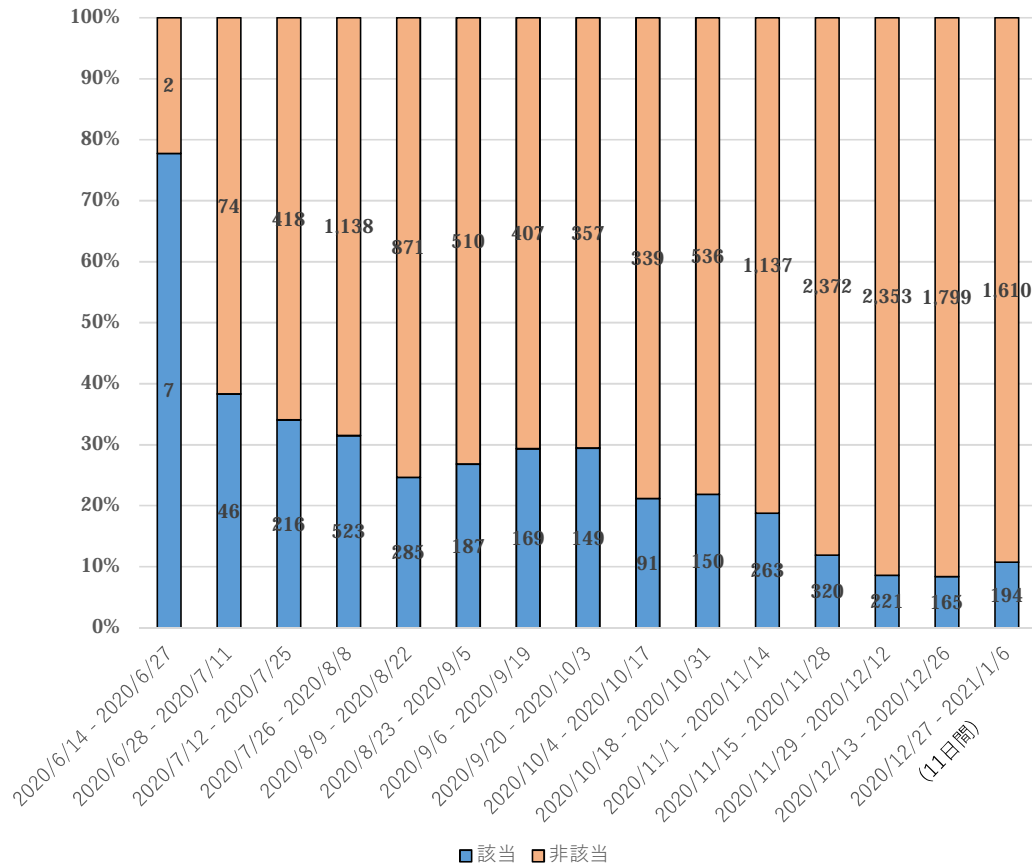
※カッコ書きは、14日間の推定値

夜の街の関係者及び滞在者の割合・人数は、直近11日間で再び増加傾向。

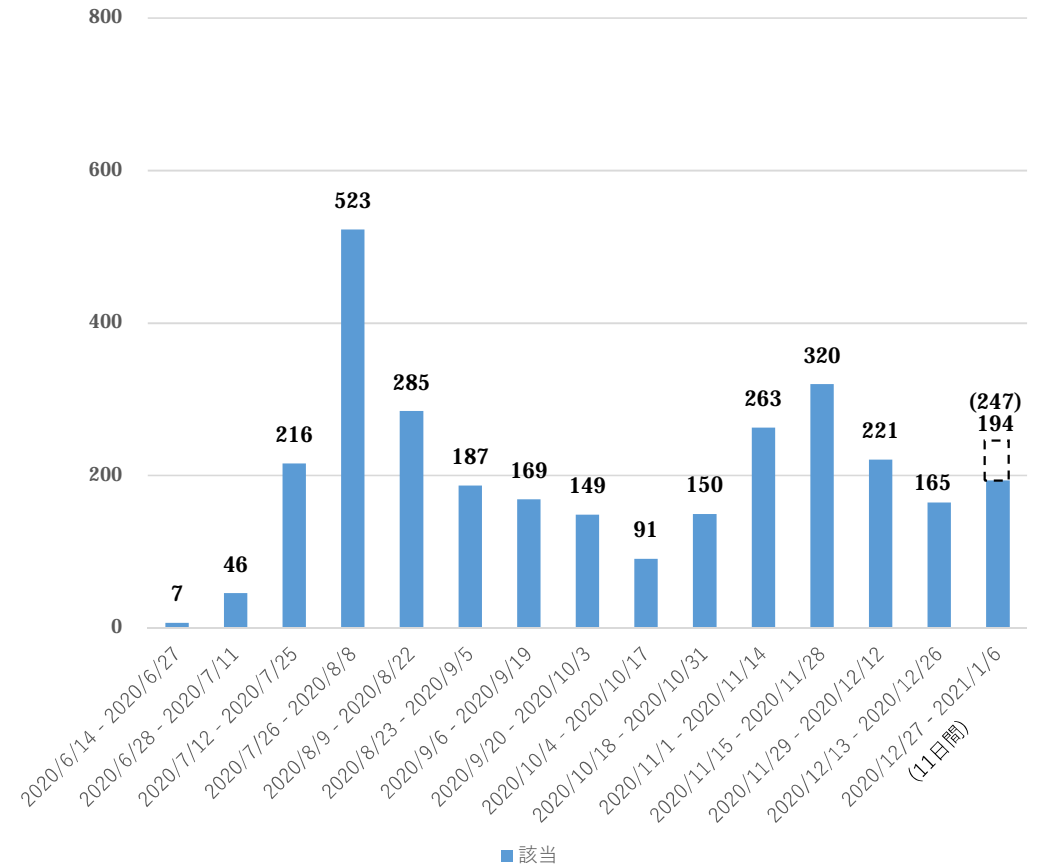
# 夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明者における該当者）

（6月14日以降1月6日までに判明した感染経路不明者16,909事例の状況）

夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：割合）



夜の街の関係者及び滞在者の状況（感染経路不明：実数）

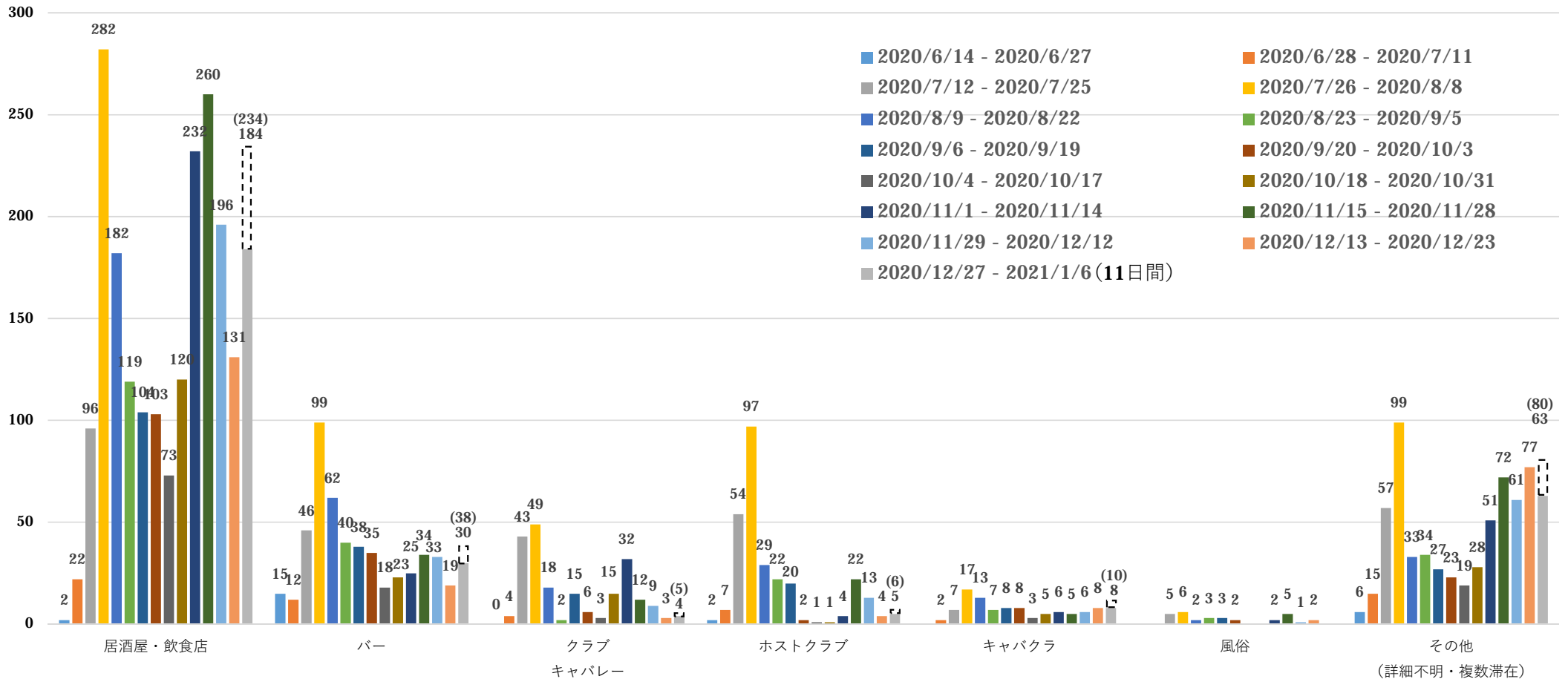


※カッコ書きは、14日間の推定値 24



# 夜の街の滞在分類別の状況

(6月14日以降1月6日までに判明した3,932事例の状況)

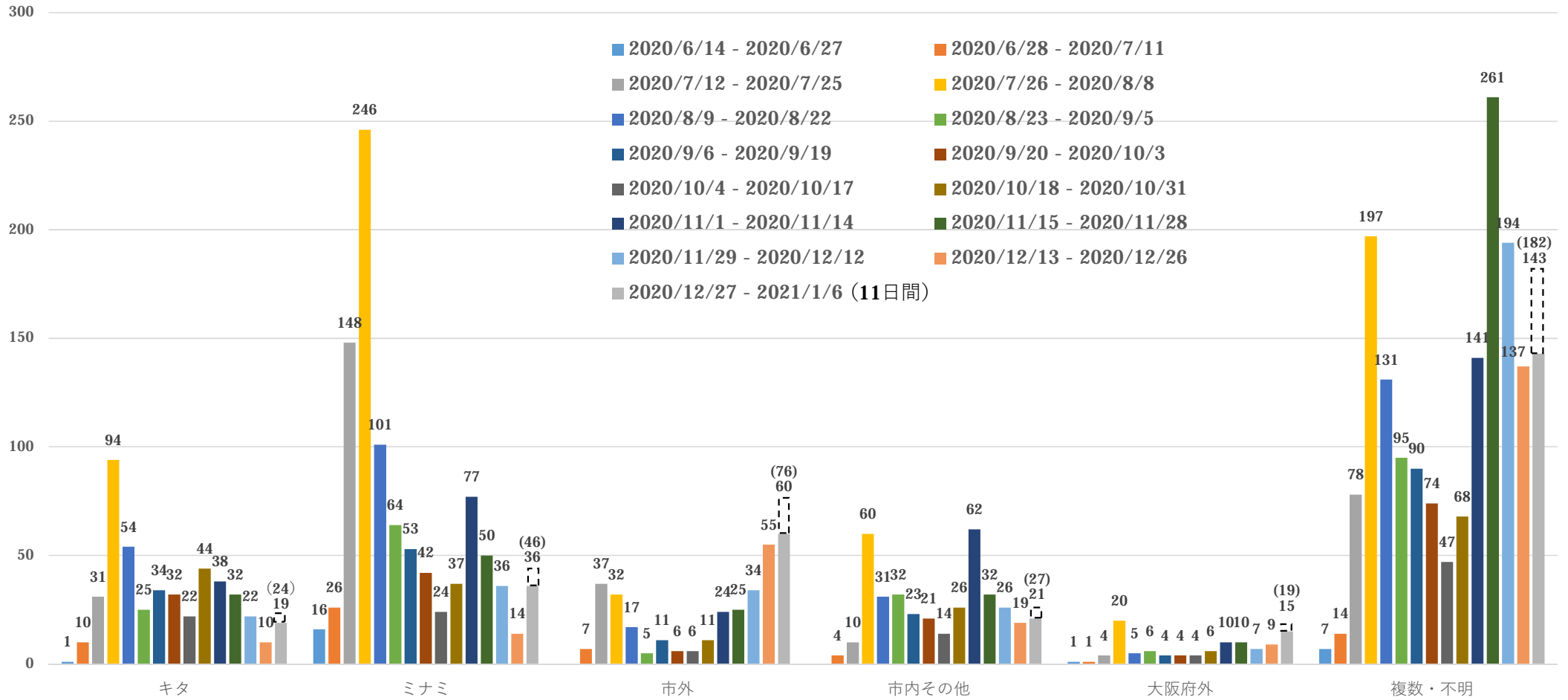


居酒屋・飲食店及びバーは、直近11日間で増加。

※カッコ書きは、14日間の推定値 25

# 夜の街の滞在エリア別の状況

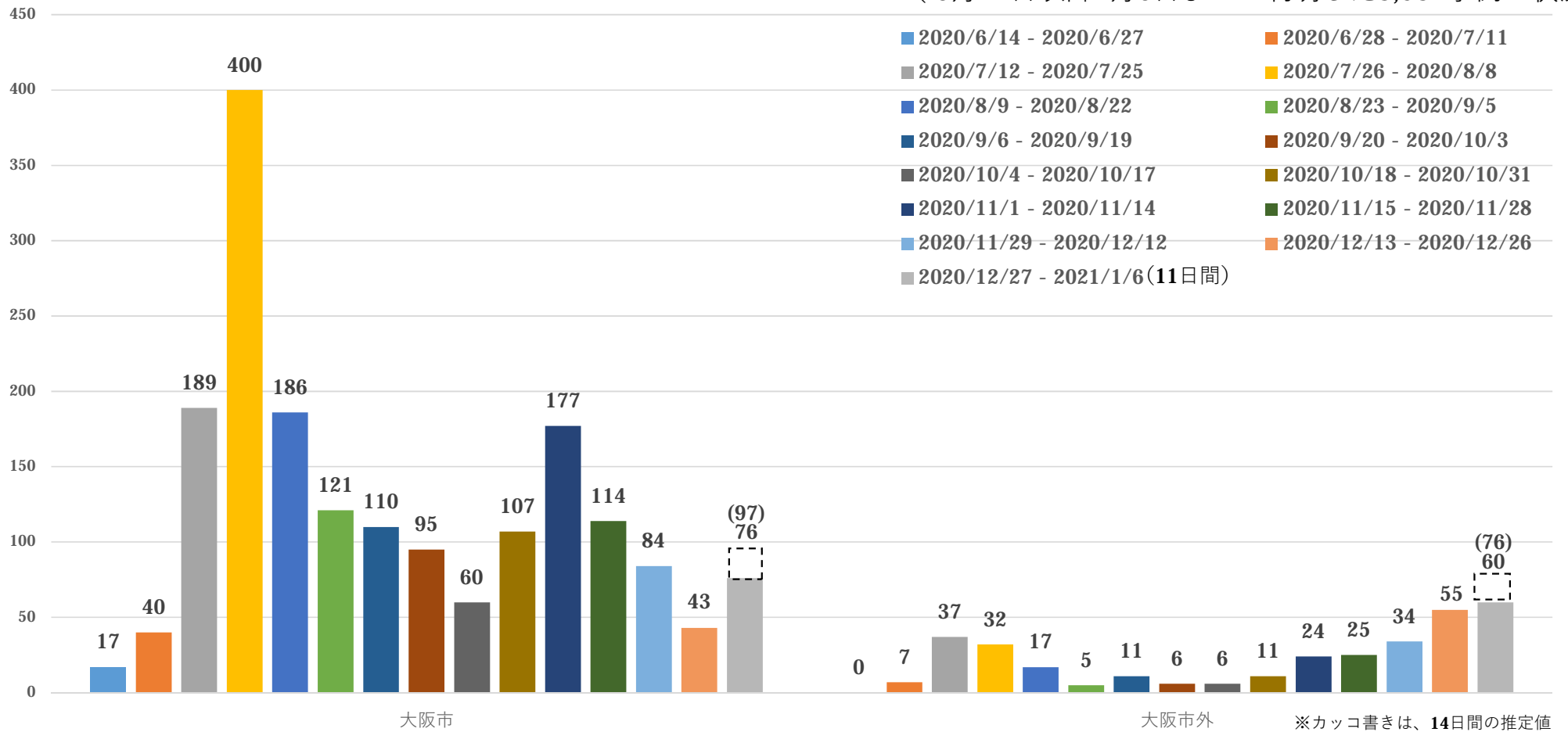
(6月14日以降1月6日までに判明した3,932事例の状況)



※カッコ書きは、14日間の推定値

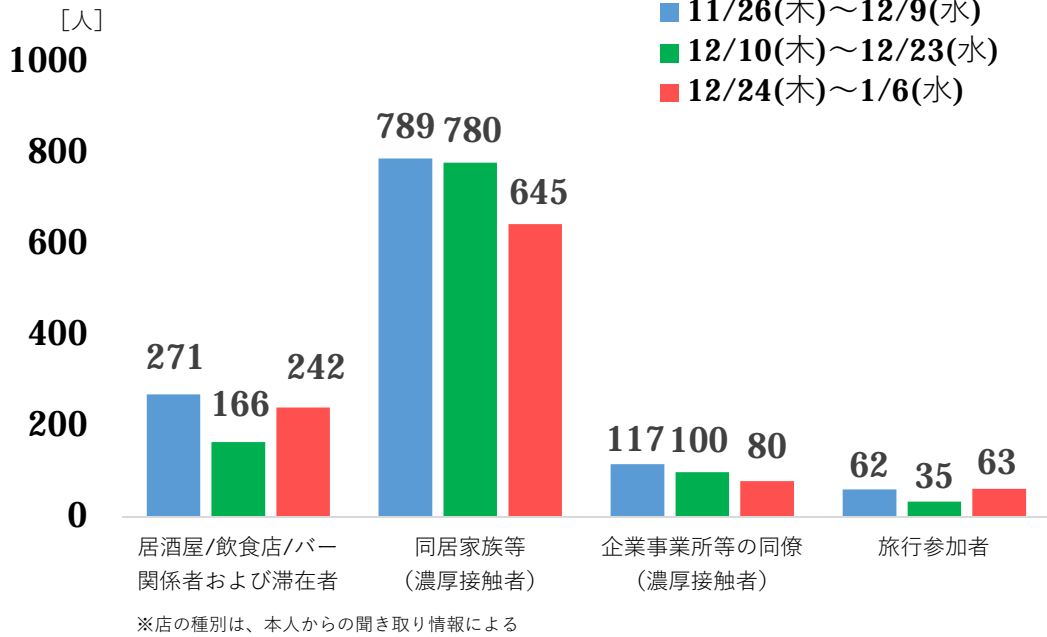
# 夜の街の滞在エリア別の状況

(6月14日以降1月6日までに判明した3,932事例の状況)



# 状況別の陽性者、感染の可能性があるエピソード

## ● 状況別の陽性者



【全陽性者に占める割合】

状況	11/26-12/9	12/10-12/23	12/24-1/6
居酒屋/飲食店/バー関係者および滞在者	5.5%	3.8%	5.8%
同居家族等(濃厚接触者)	15.9%	17.8%	15.4%
企業事業所等の同僚(濃厚接触者)	2.4%	2.3%	1.9%
旅行参加者	1.2%	0.8%	1.5%

※全陽性者数：11/26-12/9 4,962名 12/10-12/23 4,392名 12/24-1/6 4,200名

**新規陽性者に占める居酒屋、飲食店等の割合が増加。**

## ● 年未年始に、確認された感染の可能性があるエピソード

特徴	感染が推定されるエピソード	確認された延べ人数
普段接していない者同士の集まり	同窓会等、友人同士の集まり(会食・カラオケ等)	24人 ※複数のクラスターが発生
	複数の家族が集う親族の集まり(同居家族を除く)	60人
年中行事	クリスマス会・忘年会・新年会	12人
年未年始に開催が増えるイベント	パーティ	6人
	カラオケ	52人 ※オールナイト等、長時間に及ぶものが多い
	飲み会・会食・宅飲み	141人

**延べ295人**

※12/26~1/6に発表された新規陽性者3,617人の行動歴より集計

**年未年始におけるイベントでの感染が数多く確認された**

## クラスターの発生状況

第一波のクラスターの発生状況  
(1月29日以降6月13日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	陽性者数 /件数
1	ライブ参加者	4 施設	48	12.0
2	大学の関係者	1 大学	8	8.0
3	医療機関関連	6 医療機関	284	47.3
計			340	

第二波のクラスターの発生状況  
(6月14日以降10月9日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	陽性者数 /件数
1	飲食店関連	5 店	45	9.0
2	大学・学校関連	3 校	48	16.0
3	医療機関関連	10医療機関	295	29.5
4	高齢者施設・障がい者施設関連	23施設	389	16.9
5	その他	4件	63	15.8
計			840	

第三波のクラスターの発生状況  
(10月10日以降1月7日まで)

	発表名称	件数	陽性者数	陽性者数 /件数	(参考) 12/2まで
1	飲食店関係	6 店	66	11.0	— (0件)
2	大学・学校関連	20校	289	14.5	14.2(128/9)
3	医療機関関連	35医療機関	1,190	34.0	25.8(412/16)
4	高齢者施設・障がい者施設関連	85施設	1,510	17.8	16.0(480/30)
5	その他	28件	286	10.2	10.4(104/10)
計			3,341		

クラスターにおける陽性者数の割合

	第一波	第二波	第三波
クラスターにおける陽性者数	340	840	3,341
全陽性者数	1,786	9,271	21,562
割合	19.0%	9.1%	15.5%

※クラスター対策として、「新型コロナウイルス感染症 病院・高齢者施設感染クラスター ケーススタディ 2020—大阪—」を1月8日に公表予定。